

2019 経営レポート

Management report



はじめに

日頃から、都営交通をご利用いただき、ありがとうございます。

東京都交通局は、都営地下鉄、都営バス、東京さくらトラム（都電荒川線）、日暮里・舎人ライナー、上野動物園モノレール及び発電の6事業並びにこれらに関連する事業を運営しています。

経営に当たっては、東京の都市活動や都民生活を支える公共交通機関としての使命を果たすため、安全・安心の確保を最優先に、接遇の向上や快適な施設の整備に取り組む一方、コスト縮減や業務運営の効率化などにも努めています。

このレポートは、東京都交通局の経営状況等を簡潔にまとめ、お客様や都民の皆様の、交通局事業に対する理解と信頼とを得ることを目的として作成しています。

目次

1 都営交通について P3 都営交通について	2 経営の状況 P5 事業別の状況 P7 財務指標（営業収益） P9 財務指標（経常損益） P11 運輸成績表、決算総括表 P13 貸借対照表、キャッシュ・フロー計算書	3 経営指標比較（事業別） P15 比較対象団体、使用する指標 P17 高速電車事業／都営地下鉄 P21 自動車運送事業／都営バス P25 軌道事業／東京さくらトラム（都電荒川線） P27 新交通事業／日暮里・舎人ライナー P31 電気事業／発電 P33 関連事業（不動産等活用事業・広告事業・構内営業事業）	4 経営計画2016の進捗状況 P35 進捗状況（2018年度時点） P36 史上最高のオリンピック・パラリンピックの実現に向けた取組 P37 安全・安心の確保 P38 質の高いサービスの提供 P39 東京の発展に貢献 P40 経営基盤の強化
--	--	--	--

（凡例） 数値については、原則として、表示単位未満を四捨五入しているため、合計等と一致しない場合があります。
金額については、原則として、税抜きで表示しています。
一日平均は、営業日数で除したものです。
（2018年度営業日数 上野動物園モノレール：259日、その他：365日）

（報告期間） 報告対象期間は、2018年度（2018年4月1日から2019年3月31日まで。）です。
ただし、必要に応じて当期間の前後についても言及しています。

経営理念

私たち都営交通は、都民やお客様に信頼され、支持される公共交通機関として、安全・安心を何よりも大切にし、東京の都市活動や都民生活を支えています。

経営方針	主な計画事業 (2016年度-2018年度)	計画事業費 (2016年度-2018年度)
都民やお客様の信頼に応えるため、安全・安心を最優先し、全職員が一丸となって、災害に強く、事故のない都営交通を実現します。	○安全対策の強化 ○災害対策等の強化	1,101 億円
お客様が求める質の高いサービスを提供し、快適で利用しやすい都営交通を実現します。	○輸送需要への的確な対応 ○旅行者にも利用しやすい環境の整備 ○新たなバスモデルの展開	564 億円
首都東京が抱える様々な課題に果敢に挑戦し、東京の発展に貢献する都営交通を実現します。	○まちづくりとの連携 ○持続可能な社会の実現への貢献 ○沿線地域の発展に貢献	182 億円
事業環境の変化にも迅速かつ的確に対応するとともに、中長期的に安定した事業運営を行っていくため、経営基盤を強化します。	○関連事業の推進 ○安定的な人材の確保と育成	17 億円



職員数 (2019年3月31日)	事業	指標 (2018年度)
6,394 名 ^{*1}	◆高速電車事業会計 ・ 都営地下鉄	乗車人員 (5事業合計 ^{*2}) 13.1 億人
＜内訳＞ 事務 1,370 名 技術 753 名 運転 2,726 名 地下鉄車掌 267 名 鉄道営業 557 名 交通技能 636 名 その他 85 名	◆交通事業会計 ・ 都営バス ・ 東京さくらトラム (都電荒川線) ・ 日暮里・舎人ライナー ・ 上野動物園モノレール	営業収益 2,037 億円
^{*1} 再任用短時間勤務職員除く。	◆電気事業会計 ・ 発電 ※関連事業 ・ 不動産等活用事業 ・ 広告事業 ・ 構内営業事業 等	経常利益 359 億円
		^{*2} 都営地下鉄、都営バス、東京さくらトラム (都電荒川線)、日暮里・舎人ライナー及び上野動物園モノレールの5事業を指す。



2 経営の状況
事業別の状況

交通局は以下の三つの会計を設け、地方公営企業法に基づいてそれぞれの事業を経理しています。

- ・高速電車事業会計
- ・交通事業会計（自動車運送事業・軌道事業・新交通事業・懸垂電車事業）
- ・電気事業会計

2018年度事業別主要数値(対前年度比)

	都営地下鉄	都営バス	東京さくらトラム (都電荒川線)
(販売電力量) 乗車人員			
	年間 (万人・MWh)	年間 (万人・MWh)	年間 (万人・MWh)
(電力料収入) 乗車料収入	年間(億円)	年間(億円)	年間(億円)
	一日平均 (万円)	一日平均 (万円)	一日平均 (万円)
経常損益(億円)			
未処分利益剰余金 <△累積欠損金> (億円)			

日暮里・舎人 ライナー	上野動物園 モノレール	発電
		
3,243 (3.3%↑)	96 (11.6%↓)	109,976 (18.8%↑)
8.9 (3.3%↑)	0.4 (5.1%↑)	302,965 (19.4%↑)
57 (3.2%↑)	1 (11.2%↓)	16 (7.4%↑)
1,556 (3.2%↑)	44 (5.7%↑)	428 (8.0%↑)
△5.6 (1.2億円↓)	0.1 (0.1億円↓)	6.9 (1.7億円↑)
△157.5 (5.6億円↓)	2.7 (0.1億円↑)	6.9 (1.6億円↑)

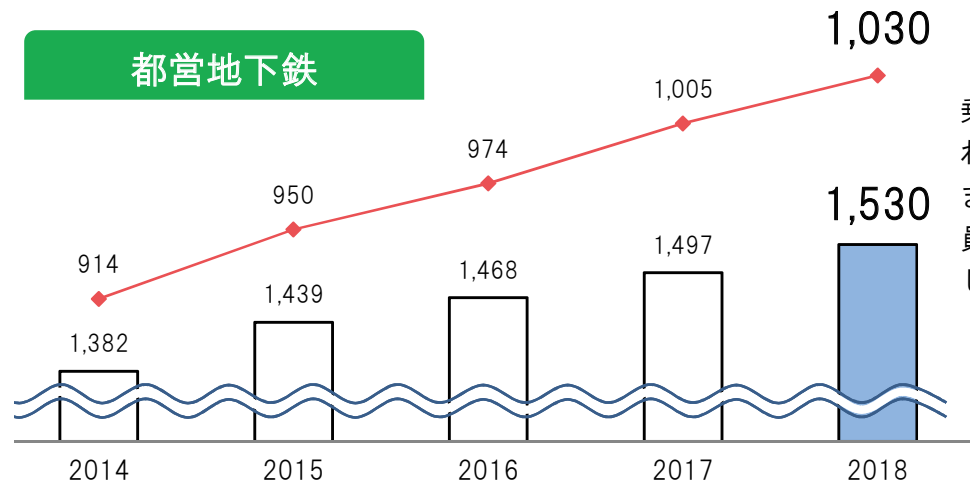
財務指標

企業の経営活動の結果は決算に集約されます。交通局の経営状況を客観的に評価するため、決算の数値に基づいて、財務に関する指標を算定しました。指標については、安定した事業運営の基本である収益性の観点から選定しました。

営業収益（2014年度－2018年度）

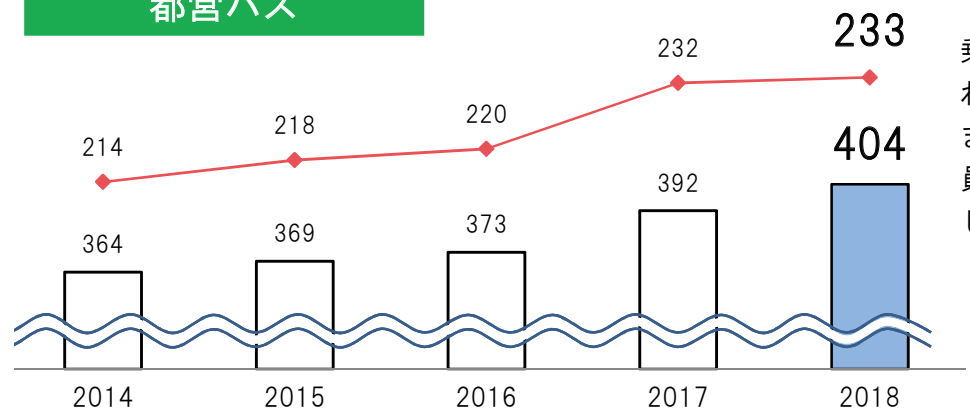
売上に相当し、乗車料、電力料、関連事業収入などが含まれます。

都営地下鉄



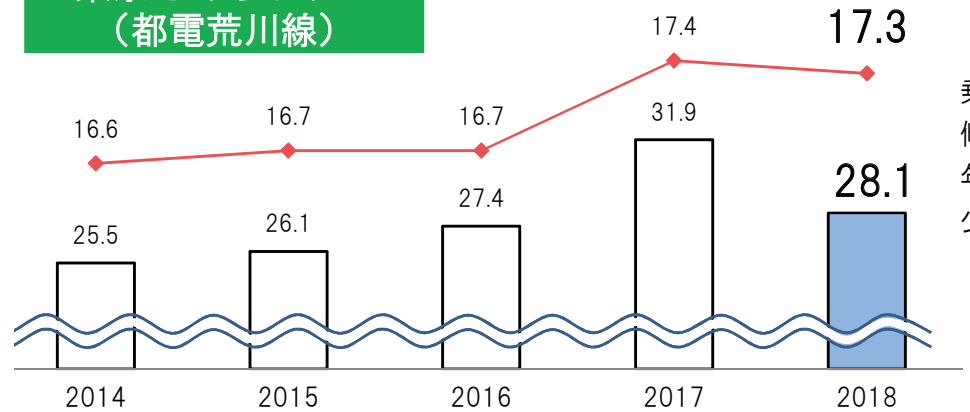
乗車人員は近年増加傾向にあり、それに合わせて営業収益も増加しています。2014年度と比較して、乗車人員は13%増加、営業収益は11%増加しています。

都営バス



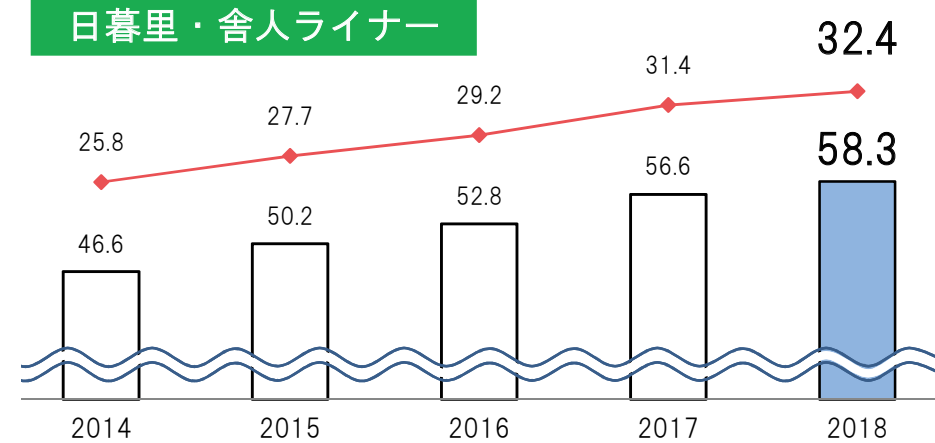
乗車人員は近年増加傾向にあり、それに合わせて営業収益も増加しています。2014年度と比較して、乗車人員は9%増加、営業収益は11%増加しています。

東京さくらトラム （都電荒川線）



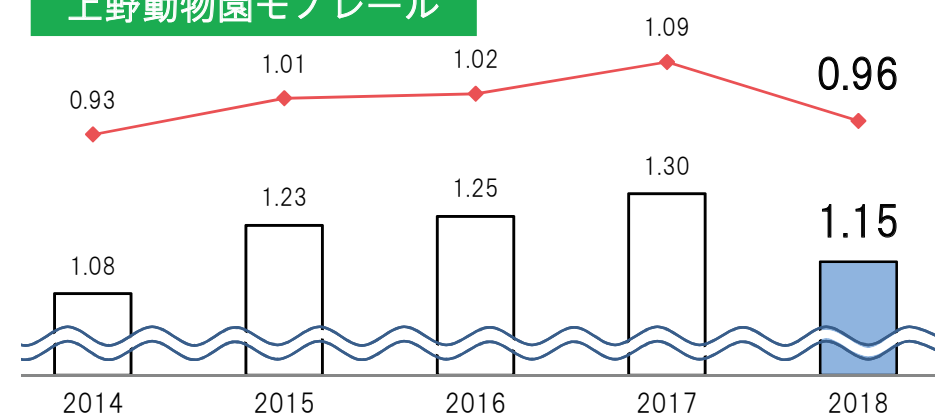
乗車人員・営業収益ともに近年増加傾向にありましたが、2018年度は前年度と比較して、乗車人員は0.6%減少、営業収益は12%減少しています。

日暮里・舎人ライナー



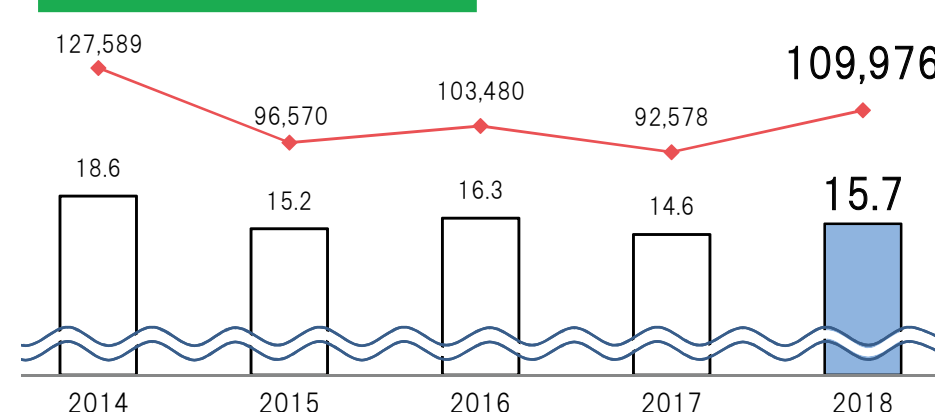
乗車人員は近年増加傾向にあり、それに合わせて営業収益も増加しています。2014年度と比較して、乗車人員は26%増加、営業収益は25%増加しています。

上野動物園モノレール



乗車人員・営業収益ともに近年増加傾向にありましたが、2018年度は前年度と比較して、乗車人員・営業収益ともに12%減少しています。

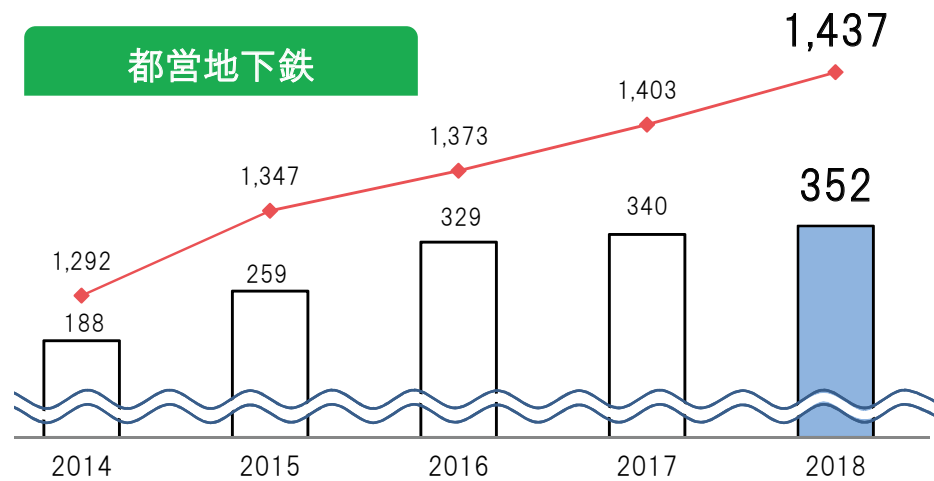
発電



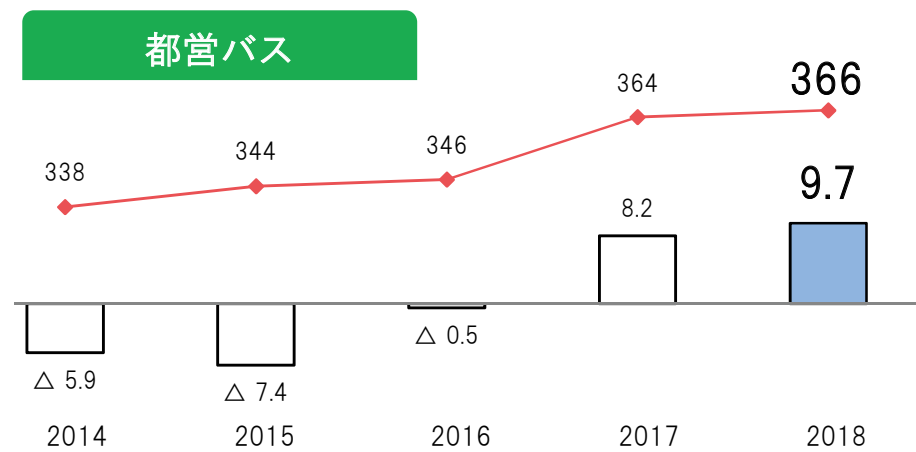
ダム放流量の増減等により発電量が左右されることから、年度ごとの増減が大きくなっています。2018年度は前年度と比較して、販売電力量は19%増加、営業収益は8%増加しています。

経常損益（2014年度－2018年度）

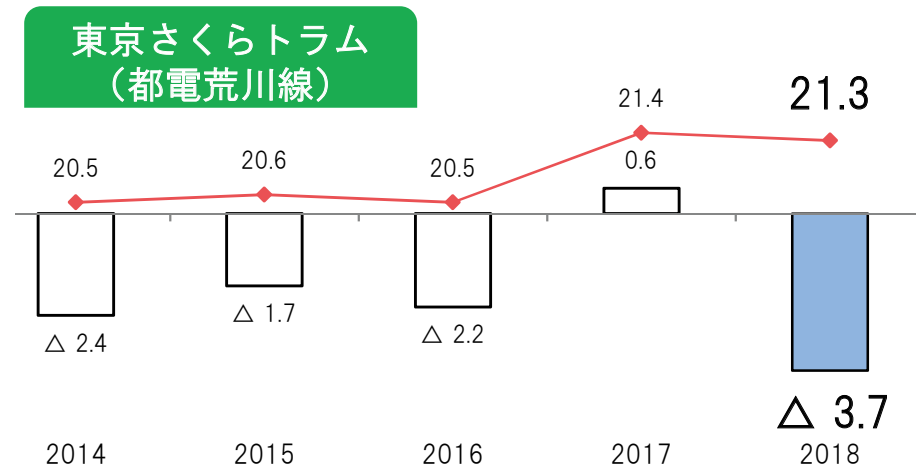
企業の継続的な活動による損益で、本業の損益に財産収入や支払利息などを加えたものです。



乗車料収入は近年増加傾向にあり、それに合わせて経常損益も増加しています。2014年度と比較して、乗車料収入は145億円増加、経常損益は164億円増加しています。

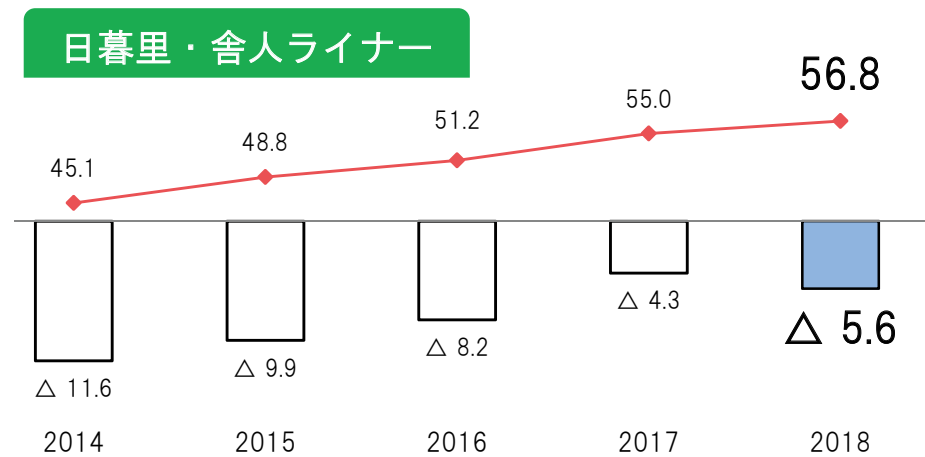


乗車料収入は近年増加傾向にあります。経常損益は2015年度を底に改善傾向にあり、2018年度も黒字となりました。2014年度と比較して、乗車料収入は28億円増加、経常損益は15.6億円増加しています。

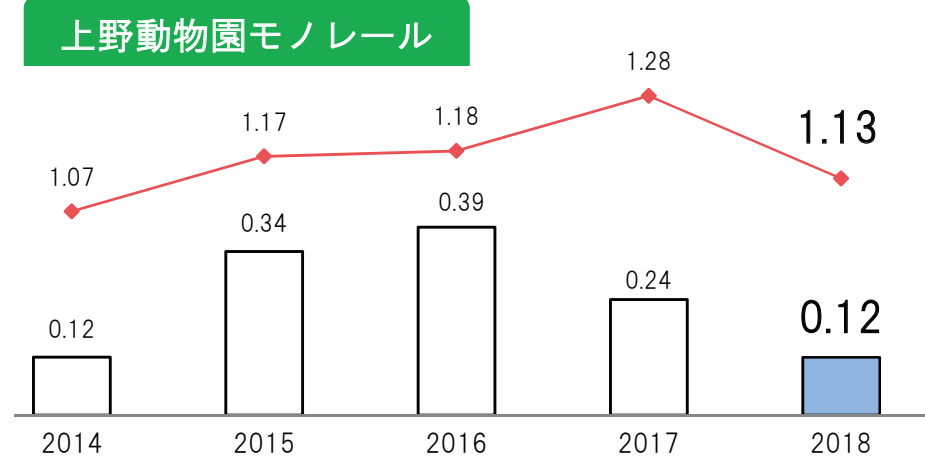


乗車料収入は前年度とおおむね同じ値です。経常損益は近年赤字傾向が続いているなかで前年度は黒字となりましたが、2018年度は前年度と比較して、4.3億円減少し、赤字となっています。

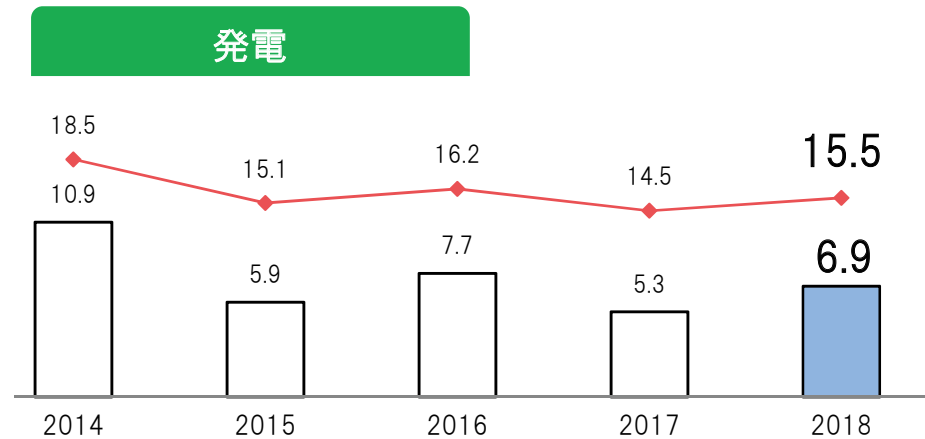
□ 経常損益(億円/年)
◆ 乗車料収入(億円/年)
<電力料収入(億円/年)>



乗車料収入は近年増加傾向にあります。それに合わせて経常損益も改善傾向にありましたが、2018年度は前年度と比較して1.3億円減少しました。2014年度と比較して、乗車料収入は11.7億円増加、経常損益は6.0億円改善しています。



乗車料収入は近年増加傾向にありましたが、2018年度は前年と比較して0.15億円減少しました。経常損益は、数千万円の黒字で推移しています。2014年度と比較して、乗車料収入・経常損益ともにおおむね同じ値です。



売電単価や発電量の違いにより、年度ごとの増減が大きくなっています。前年度と比較して、電力料収入は1.0億円増加、経常損益は1.6億円増加しています。

運輸成績表（2018年度）

事業名		車両数 期末 (両)	走行キロ 年間 (千km)	乗車人員		乗車料収入	
				年間 (億人)	一日平均 (万人)	年間 (億円)	一日平均 (万円)
都 営 地 下 鉄		1,174	122,418	10.0	282.1	1,437	39,368
	浅 草 線	224	22,545	2.8	76.5	325	8,903
	三 田 線	222	21,188	2.5	67.3	303	8,289
	新 宿 線	264	33,282	2.9	79.2	375	10,263
	大 江 戸 線	464	45,403	3.6	97.7	435	11,914
都 営 バ ス		1,490	46,072	2.3	64.0	366	10,037
	乗 合	1,485	45,776	2.3	63.9	363	9,956
	貸 切	5	296	0.004	0.1	3	81
東京さくらトラム （都電荒川線）		33	1,484	0.2	4.8	21	582
日 暮 里 ・ 舎 人 ラ イ ナ ー		90	7,748	0.3	8.9	57	1,556
上 野 動 物 園 モ ノ レ ー ル		2	9	0.01	0.4	1	44
合 計		2,789	177,731	13.1	360.0	1,882	51,574
発 電		水力発電所（3か所） 多摩川第一発電所 認可最大出力/19,000kW 多摩川第三発電所 認可最大出力/16,400kW 白丸発電所 認可最大出力/ 1,100kW				販売電力量 109,976MWh 電力料収入 1,553百万円	

(注)
1 都営地下鉄の乗車人員合計は、自線内相互の乗換人員を1人として計算したものであり、4線の乗車人員の単純合計ではない。
2 上野動物園モノレールは、動物園休園日及び次の期間においては運転を休止している（2018年11月26日～12月17日、2019年1月25日～3月14日）。

ホームページへの掲載について

2018年度決算の詳細については、ホームページからダウンロードしてご覧いただけます。
東京都交通局ホームページ > 交通局について > 経営情報 > 決算 > 平成30年度決算
https://www.kotsu.metro.tokyo.jp/about/information/closing/30_closing.html



決算総括表（2018年度）

（単位：百万円）

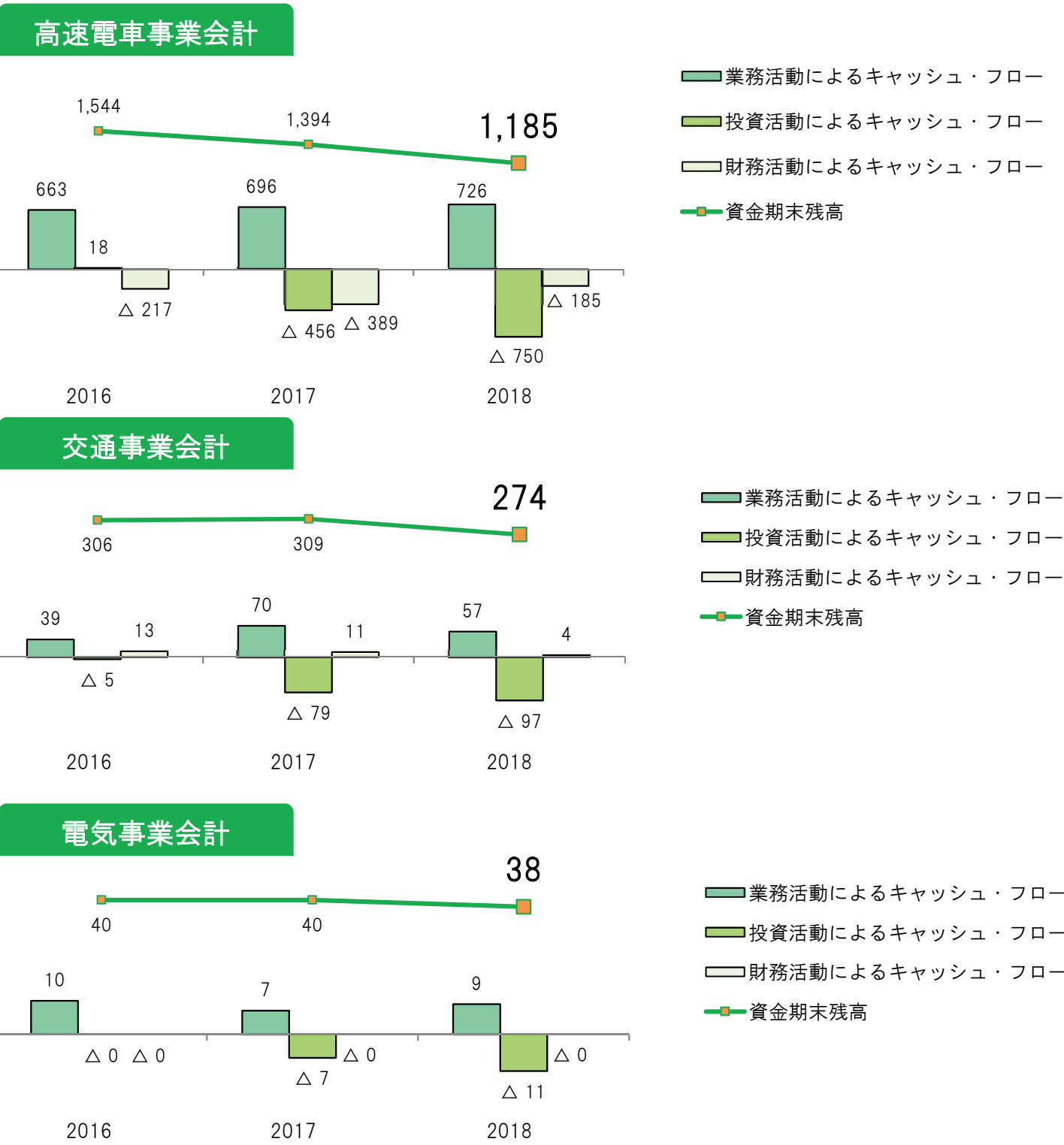
			高速電車 事業会計	交通事業会計					電気事業 会計
				自動車 運送事業	軌道事業	新交通 事業	懸垂電車 事業	計	
収益的収支	収入	営業収益	152,996	40,393	2,807	5,830	115	49,145	1,570
		乗車料・電力料 その他	143,694	36,633	2,126	5,678	113	44,550	1,553
			9,302	3,760	681	152	2	4,595	17
		営業外収益	14,012	1,811	2,217	41	6	4,074	28
		一般会計補助金 長期前受金戻入 その他	4,274	1,229	43	34	—	1,306	0
			9,402	119	21	1	—	141	26
			336	463	2,153	6	6	2,627	1
		特別利益	1,474	19	0	—	—	19	—
	計	168,482	42,222	5,024	5,871	121	53,239	1,598	
	支出	営業費用	125,980	40,876	3,206	6,072	103	50,258	904
		人件費 物件費 減価償却費	35,250	25,696	1,235	983	43	27,957	198
			48,555	12,191	1,315	3,167	60	16,734	497
			42,175	2,989	657	1,922	—	5,567	209
		営業外費用	5,852	359	2,183	355	6	2,903	0
		利子及取扱費 その他	5,735	91	8	335	—	434	—
			117	268	2,176	20	6	2,469	0
		特別損失	—	8	—	—	—	8	—
	計	131,832	41,243	5,390	6,427	109	53,168	904	
	損益	営業損益	27,016	△ 484	△ 399	△ 242	12	△ 1,113	666
		経常損益	35,176	968	△ 365	△ 556	12	59	694
		償却前損益	67,948	3,838	270	1,365	12	5,485	876
		純損益	36,650	980	△ 365	△ 556	12	70	694
資本的収支	収入	企業債	5,000	3,000	200	2,400	/	5,600	—
		一般会計出資金	8,719	—	—	78		78	—
		国庫補助金	1,508	—	—	—		—	—
		一般会計補助金	1,628	19	—	—		19	—
		その他	84	237	0	0		237	—
		計	16,939	3,256	200	2,478		5,934	—
	支出	建設改良費	41,059	5,113	465	363	5,940	183	
		企業債償還金	31,595	2,300	—	3,080	5,380	—	
		投資	14,536	—	—	—	—	—	
		計	87,189	7,413	465	3,443	11,320	183	
収支差額		△ 70,250	△ 4,157	△ 265	△ 965		△ 5,387	△ 183	

貸借対照表（2018年度）

	高速電車 事業会計	交通 事業会計	電気 事業会計		高速電車 事業会計	交通 事業会計	電気 事業会計
（資産の部）				（負債の部）			
1 固定資産	1,377,405	193,229	3,818	3 固定負債	746,394	61,149	178
有形固定資産	1,322,277	72,541	3,814	企業債	263,337	42,112	—
無形固定資産	1,564	116	3	長期借入金	245,000	—	—
投資その他の資産	53,564	120,572	1	リース債務	248	88	2
2 流動資産	194,245	44,508	5,372	引当金	29,182	18,949	176
現金及び預金	118,524	27,398	3,756	その他固定負債	208,627	—	—
未収金	18,548	4,727	155	4 流動負債	79,823	21,495	246
有価証券	47,035	10,650	1,316	企業債	37,264	6,300	—
貯蔵品	2,471	239	—	リース債務	190	68	1
前払費用	152	12	—	未払金	30,142	8,831	228
前払金	7,480	1,482	144	未払費用	371	33	—
未収収益	15	1	0	前受金	7,878	1,057	—
その他流動資産	21	—	—	引当金	2,540	1,865	15
				預り金	1,438	3,340	1
				5 繰延収益	412,382	1,741	625
				長期前受金	412,382	1,741	625
				負債合計	1,238,598	84,385	1,049
（資本の部）				（資本の部）			
				6 資本金	457,221	53,591	2,961
				一般会計出資金	457,221	9,232	—
				再評価積立金組入額	—	1,261	—
				減債積立金組入額	—	30,900	1,633
				その他剰余金組入額	—	12,198	1,328
				7 剰余金	△ 124,169	86,841	5,180
				資本剰余金	99,616	172	0
				利益剰余金(△欠損金)	△ 223,785	86,669	5,180
				8 評価差額等	—	12,920	—
				その他有価証券評価差額	—	12,920	—
				資本合計	333,052	153,352	8,141
資産合計	1,571,650	237,737	9,190	負債資本合計	1,571,650	237,737	9,190

キャッシュ・フロー計算書（2016年度－2018年度）

（単位：億円）



3 経営指標比較（事業別）
比較対象団体、使用する指標

交通局の経営状況について、指標を用いて、他都市との比較・分析を行いました。

また、都営地下鉄の路線別収支状況や都営バスの系統別収支状況のほか、関連事業の経営状況についても掲載しました。

なお、各指標は2017年度までの数値を使用しています。

引き続き、経営の透明性を高めていく観点から、積極的な経営情報の公開に取り組んでいきます。

◆比較対象団体

事業名	団体	団体数
高速電車事業/ 都営地下鉄	札幌市 仙台市 東京都 横浜市 名古屋市 京都市 大阪市 神戸市 福岡市	9
自動車運送事業/ 都営バス	青森市 八戸市 仙台市 東京都 三宅村 八丈町 横浜市 川崎市 南アルプス市 伊那市 名古屋市 京都市 大阪市 高槻市 神戸市 伊丹市 松江市 宇部市 徳島市 北九州市 佐賀市 長崎県 佐世保市 鹿児島市 沖永良部バス企業団 【廃止】 (2014年度) 岩国市 小松島市 松浦市 熊本市 (2015年度) 尼崎市	25
軌道事業/ 東京さくらトラム (都電荒川線)	札幌市 函館市 東京都 熊本市 鹿児島市	5
新交通事業/ 日暮里・舎人 ライナー ※懸垂電車事業含む	東京都 大阪市	2
電気事業/ 発電	北海道 岩手県 秋田県 山形県 美浦村 栃木県 群馬県 東京都 神奈川県 新潟県 富山県 金沢市 山梨県 長野県 三重県 京都府 兵庫県 鳥取県 島根県 岡山県 山口県 徳島県 愛媛県 高知県 福岡県 熊本県 大分県 宮崎県	28

(注)

1 使用数値は、総務省「地方公営企業決算状況調査」（平成25年度～平成29年度）による。
2018年度数値は本レポート作成時点で未公表

2 新交通事業の数値には懸垂電車事業の数値も含む。

3 各指標の「平均値」は上記の表の団体の平均（団体数は2017年度の数値）

◆使用する指標

指標	単位	指標の説明	都営 地下鉄	都営 バス	東京 さくら トラム	日暮里・ 舎人 ライナー	発電
営業収支比率	%	当該年度において料金収入等の営業活動から生じる収益で、人件費や燃料費、発電費等の営業費用をどの程度賄えているかを表す。	○	○	○	○	○
経常収支比率	%	当該年度において料金収入や一般会計からの繰入金等の収益で、人件費や支払利息等の費用をどの程度賄えているかを表す。	○	○	○	○	○
流動比率	%	短期的な債務の支払能力を表す。	○	○	○	○	○
累積欠損金比率	%	事業の規模に対する累積欠損金（営業活動により生じた損失で、前年度からの繰越利益剰余金等でも補填することができず、複数年度にわたって累積した損失のこと。）の状況を表す。	○	○	○	○	—
利用者1回当たり運行経費	円	利用者がバス等を1回利用するに当たり、費用がどれだけ掛かっているかを表す。	○	○	○	○	—
他会計負担比率	%	人件費や支払利息等の費用が一般会計等の他会計の負担によってどの程度賄われているかを表す。	○	○	○	○	—
企業債残高対料金収入比率	%	料金収入に対する企業債残高の割合であり、企業債残高の規模を表す。	○	○	○	○	○
有形固定資産減価償却率	%	有形固定資産のうち償却対象資産の減価償却がどの程度進んでいるかを表す。	○	○	○	○	○
走行キロ当たりの収入	円	運行1キロ当たりでどれだけの収入を上げられているかを表す。	○	○	○	○	—
走行キロ当たりの運送原価	円	運行1キロ当たりでどれだけの経費が掛かっているかを表す。	○	○	○	○	—
走行キロ当たりの人件費	円	運行1キロ当たりでどれだけの人件費が掛かっているかを表す。	○	○	○	○	—
乗車効率	%	車両1台の乗車定員に対する平均輸送人員の割合であり、定員当たりでどの程度乗車しているかを表す。	○	○	○	○	—
供給原価	円	販売電力量1MWh当たりでどれだけの費用が掛かっているかを表す。	—	—	—	—	○
設備利用率	%	本来備えている発電能力と実際の発電電力量との割合であり、設備の利用状況や適正規模を判断する指標	—	—	—	—	○
修繕費比率	%	費用のうち、施設修繕、管理やメンテナンスに掛かっている割合を表す。	—	—	—	—	○



高速電車事業 / 都営地下鉄

都営地下鉄は、浅草線・三田線・新宿線・大江戸線の4路線を営業し、2018年度は、一日平均約282万人のお客様にご利用いただきました。

年間輸送人員

10億人

在籍車両数

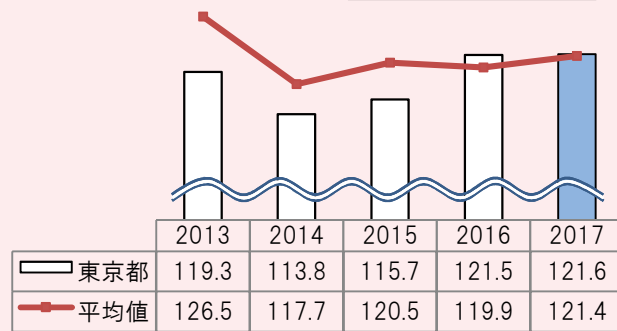
1,174両

経営の健全性

営業収支比率 (%)

= 営業収益 / 営業費用 × 100

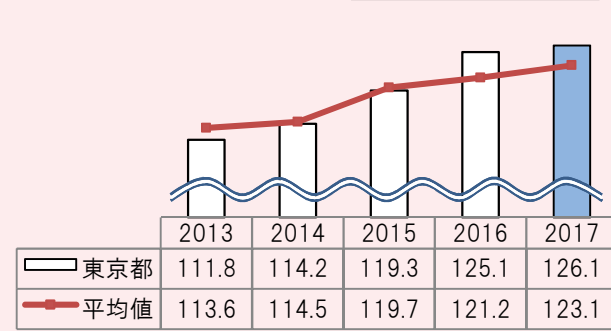
121.6%



経常収支比率 (%)

= 経常収益 / 経常費用 × 100

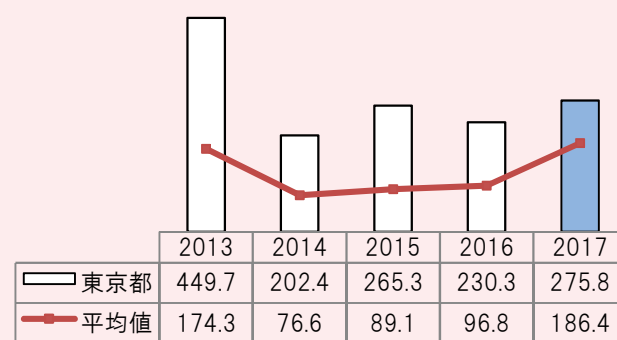
126.1%



流動比率 (%)

= 流動資産 / 流動負債 × 100

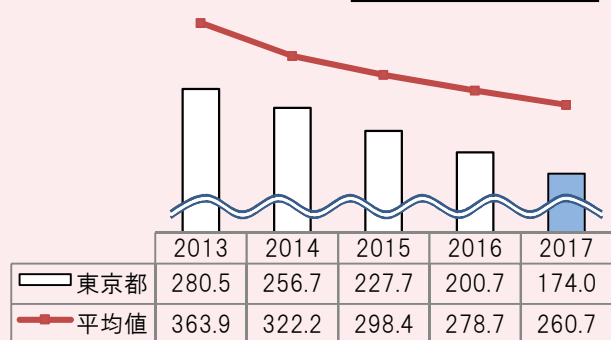
275.8%



累積欠損金比率 (%)

= 当年度未処理欠損金 / 営業収益 × 100

174.0%

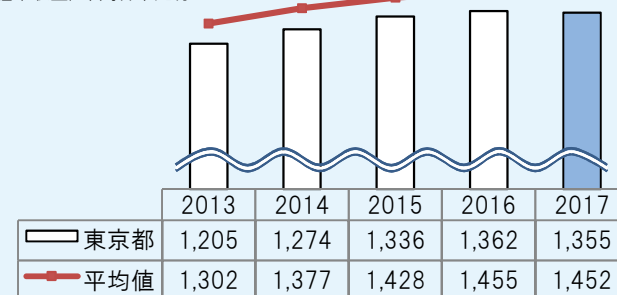


経営の効率性

走行キロ当たりの収入 (円)

= 経常収益 / 年間客車走行キロ

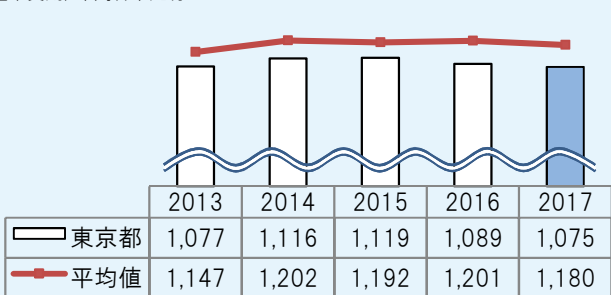
1,355円



走行キロ当たりの運送原価 (円)

= 経常費用 / 年間客車走行キロ

1,075円



経営の健全性

- 「経常収支比率」が右肩上がり推移し安定して黒字を計上していることなどから、「累積欠損金比率」は減少傾向です。
- 「利用者1回当たり運行経費」と「他会計負担比率」は平均値より低い水準で推移しています。
- 「企業債残高対料金収入比率」は企業債残高が減少する一方で乗車料収入が増加しているため、減少傾向にあります。

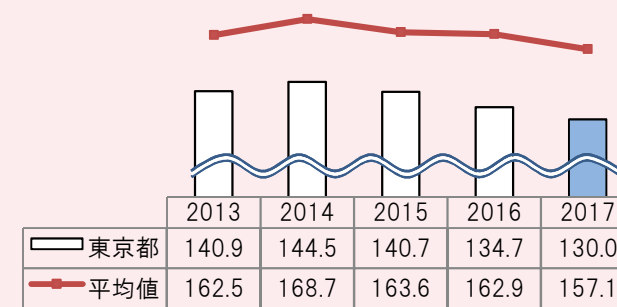
経営の効率性

- 「走行キロ当たりの人件費」は新宿線の10両編成化により客車走行キロが増加したため、2017年度は減少しています。
- 「乗車効率」は平均値を上回るとともに、輸送人員の増加を反映して、上昇傾向にあります。

利用者1回当たり
運行経費 (円)

= 経常費用 / 年間輸送人員

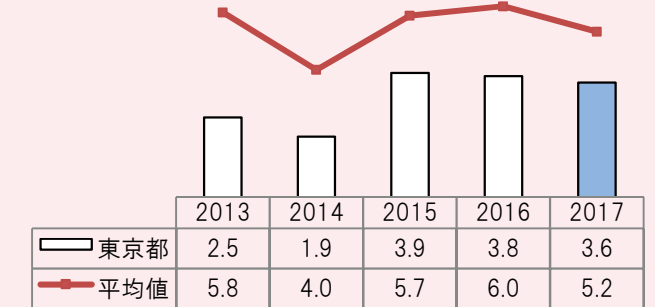
130.0円



他会計負担比率 (%)

= (他会計補助金 + 他会計負担金) / 経常費用 × 100

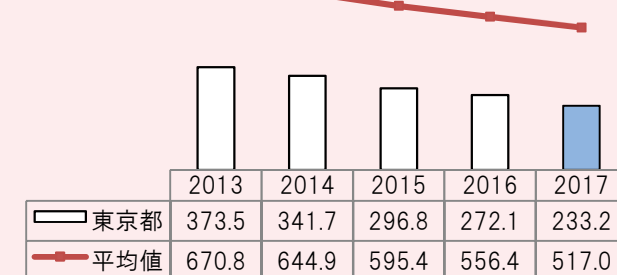
3.6%



企業債残高対料金
収入比率 (%)

= 企業債年度末残高 /
料金収入 × 100

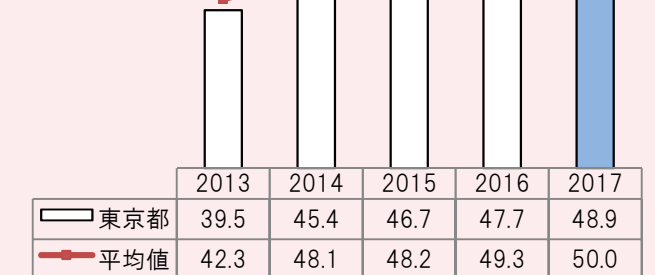
233.2%



有形固定資産
減価償却率 (%)

= 減価償却累計額 / 有形償却
資産帳簿原価 × 100

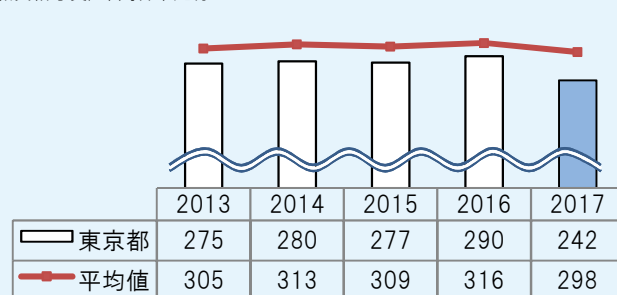
48.9%



走行キロ当たりの
人件費 (円)

= 職員給与 / 年間客車走行キロ

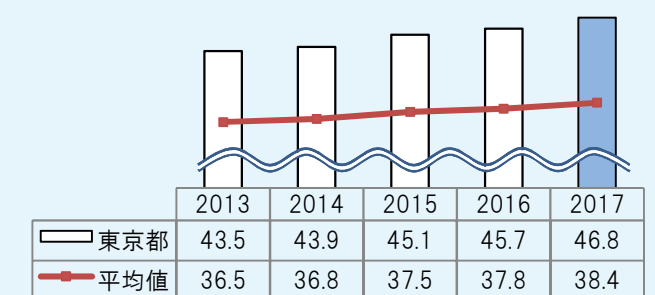
242円



乗車効率 (%)

= { 延人キロ / (年間客車走行キロ
× 平均乗車定員数) } × 100

46.8%



3 経営指標比較（事業別）

【都営地下鉄】路線別収支・駅別一日平均乗降人員（2018年度）

路線別収支

駅別一日平均乗降人員

A 浅草線

収益的收入	352 億円
収益の支出	209 億円
損益額	143 億円
乗車料収入	0.9 億円／日
乗車人員	76 万人／日
営業係数	59

I 三田線

収益的收入	334 億円
収益の支出	234 億円
損益額	100 億円
乗車料収入	0.8 億円／日
乗車人員	67 万人／日
営業係数	70

S 新宿線

収益的收入	425 億円
収益の支出	312 億円
損益額	114 億円
乗車料収入	1.0 億円／日
乗車人員	79 万人／日
営業係数	73

E 大江戸線

収益的收入	573 億円
収益の支出	563 億円
損益額	10 億円
乗車料収入	1.2 億円／日
乗車人員	98 万人／日
営業係数	98

(単位：人・％)			
順位	駅名	2018年度	前年比
1	新橋	101,126	2.9
2	日本橋	100,408	3.6
3	東銀座	86,157	3.0
4	東日本橋	85,113	2.2
5	五反田	71,269	1.3
6	浅草橋	61,500	1.7
7	押上	58,689	1.1
8	浅草	56,549	3.7
9	人形町	55,032	5.5
10	三田	52,384	3.7
11	大門	51,519	4.5
12	西馬込	48,687	2.6
13	泉岳寺	44,295	▲0.5
14	蔵前	37,591	4.0
15	宝町	32,242	6.8
16	中延	31,921	2.5
17	馬込	28,981	4.5
18	戸越	22,384	2.7
19	本所吾妻橋	19,361	1.3
20	高輪台	15,024	1.4

(単位：人・％)			
順位	駅名	2018年度	前年比
1	大手町	107,746	3.2
2	巣鴨	95,847	▲0.3
3	日比谷	92,589	7.4
4	神保町	66,985	0.0
5	白山	51,351	0.2
6	三田	49,636	2.8
7	御成門	49,149	5.4
8	水道橋	48,493	0.9
9	内幸町	45,660	0.8
10	板橋本町	35,670	2.4
11	春日	35,391	0.8
12	板橋区役所前	35,198	1.6
13	志村三丁目	32,385	▲0.1
14	芝公園	32,260	2.8
15	千石	31,373	▲1.8
16	志村坂上	31,301	0.3
17	新板橋	30,973	0.9
18	高島平	30,767	0.6
19	西巣鴨	30,549	1.7
20	白金高輪	28,206	4.2
21	西台	27,418	5.0
22	本蓮沼	25,738	3.1
23	目黒	23,692	5.9
24	蓮根	19,682	0.6
25	西高島平	13,397	3.7
26	白金台	10,875	0.5
27	新高島平	9,997	▲0.3

(単位：人・％)			
順位	駅名	2018年度	前年比
1	馬喰横山	117,738	1.9
2	九段下	115,672	3.8
3	新宿	110,821	3.0
4	市ヶ谷	101,106	2.2
5	本八幡	80,470	3.3
6	新宿三丁目	74,634	2.0
7	小川町	73,552	2.0
8	船堀	64,560	2.1
9	神保町	57,960	1.2
10	瑞江	57,142	1.1
11	岩本町	55,325	2.9
12	住吉	44,760	1.1
13	一之江	44,627	2.5
14	篠崎	41,007	2.9
15	曙橋	39,127	2.9
16	大島	34,348	3.7
17	東大島	32,728	0.3
18	西大島	29,314	2.1
19	菊川	25,721	0.4
20	森下	23,578	3.3
21	浜町	23,189	3.8

(単位：人・％)			
順位	駅名	2018年度	前年比
1	六本木	103,793	3.2
2	勝どき	102,086	▲0.2
3	門前仲町	88,002	0.1
4	新宿	87,065	2.0
5	練馬	81,459	1.4
6	青山一丁目	78,357	0.5
7	月島	75,269	2.1
8	大門	73,934	3.7
9	光が丘	63,584	1.0
10	新宿西口	62,082	4.0
11	上野御徒町	60,000	2.9
12	新御徒町	54,911	5.0
13	汐留	54,532	0.5
14	都庁前	52,192	4.4
15	赤羽橋	43,070	6.5
16	清澄白河	42,770	2.1
17	東新宿	42,629	2.6
18	中野坂上	41,522	1.8
19	代々木	38,758	2.9
20	麻布十番	38,177	▲0.2
21	西新宿五丁目	36,090	8.2
22	両国	35,313	4.4
23	蔵前	35,273	5.3
24	飯田橋	34,278	3.0
25	若松河田	32,363	1.8
26	築地市場	30,264	▲7.5
27	新江古田	28,824	2.8
28	落合南長崎	28,006	3.2
29	東中野	27,755	▲0.6
30	春日	26,069	3.6
31	中井	25,798	1.2
32	練馬春日町	23,000	3.3
33	本郷三丁目	22,216	3.1
34	牛込柳町	21,158	2.7
35	森下	15,961	2.6
36	牛込神楽坂	15,237	2.7
37	豊島園	12,233	4.4
38	国立競技場	10,307	▲0.6

(注)

- 2018年度決算値を基に推計している。
- 収入及び支出は、全体の金額を営業キロ等で各路線に配分している。
- 乗車人員は、乗車券の発売等のデータを基に推計している。
- 営業係数は、その路線が100円の収入を得るために、どれだけの支出が必要かを示す数値
支出÷収入×100で算出し、営業係数100未満が黒字、100を超えると赤字
- 推計方法の見直し等により、今後、数値が改定される場合がある。



自動車運送事業 / 都営バス

都営バスは、主に東京都のＪＲ山手線と荒川とに囲まれた地域の内側及び江戸川区の一部並びに多摩地域の一部で運行しており、2018年度は、一日平均約64万人のお客様にご利用いただきました。

年間輸送人員

2.3 億人

在籍車両数

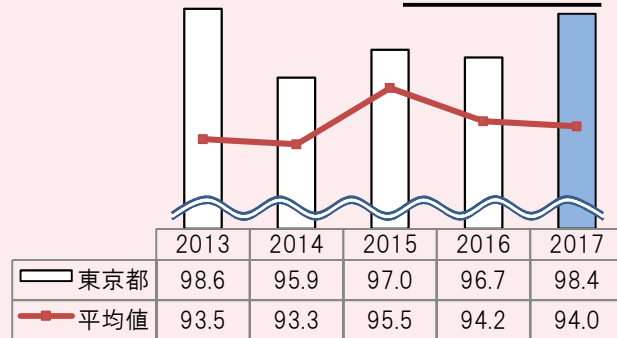
1,490 両

経営の健全性

営業収支比率 (%)

＝営業収益／営業費用×100

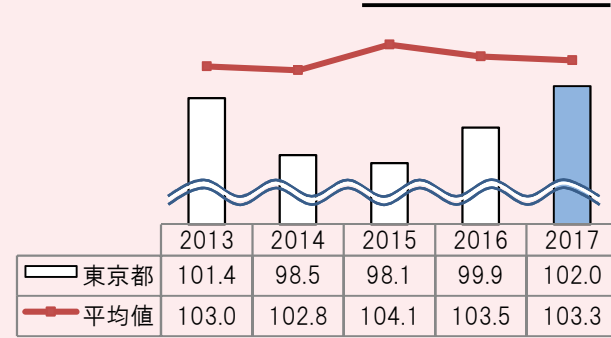
98.4%



経常収支比率 (%)

＝経常収益／経常費用×100

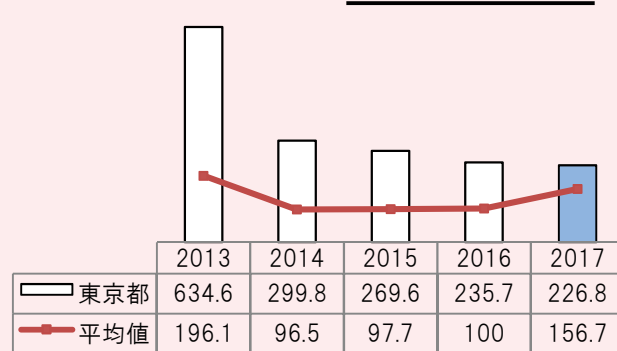
102.0%



流動比率 (%)

＝流動資産／流動負債×100

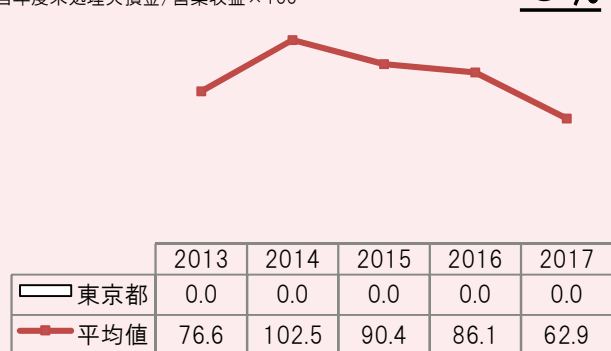
226.8%



累積欠損金比率 (%)

＝当年度未処理欠損金／営業収益×100

0%

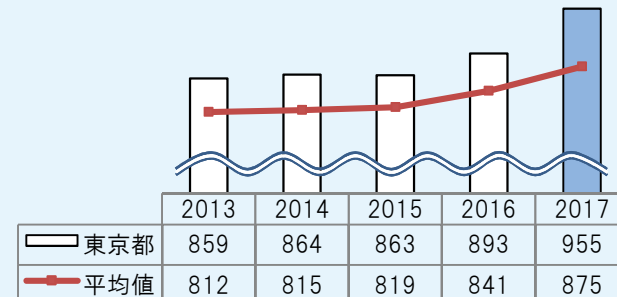


経営の効率性

走行キロ当たりの収入 (円)

＝経常収益／年間実車走行キロ

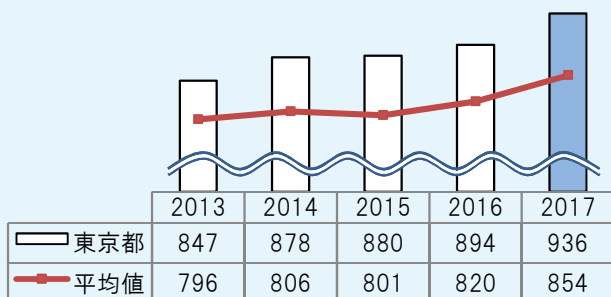
955円



走行キロ当たりの運送原価 (円)

＝経常費用／年間実車走行キロ

936円



経営の健全性

- 「営業収支比率」は平均より高く収益性が高いですが、「他会計負担比率」が低い（他会計からの負担金や補助金が少ない）ため、「経常収支比率」が平均値より低くなっています。
- 「利用者1回当たり運行経費」は平均値より低い水準にあり、年度別推移はおおむね横ばいです。
- 「企業債残高対料金収入比率」は企業債残高が減少する一方で料金収入が増加しているため、減少傾向にあります。

経営の効率性

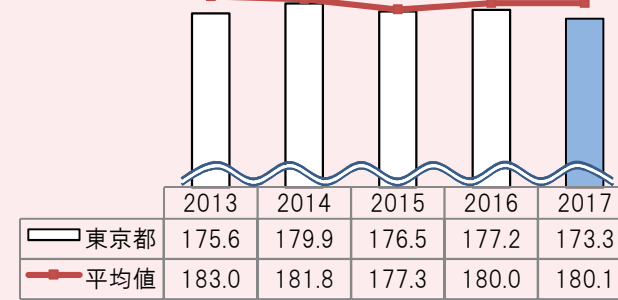
- 「走行キロ当たりの運送原価」及び「走行キロ当たりの人件費」は、東京23区における旅行速度が遅いことなどから、平均値を上回っています。
- 「乗車効率」は他事業に比べて低いものの、輸送人員の増加を反映して上昇傾向にあります。

(注) 経営の効率性の平均値は、東京都が所属する京浜ブロックに属する公営企業（東京都、横浜市、川崎市）が対象。

利用者1回当たり
運行経費 (円)

＝経常費用／年間輸送人員

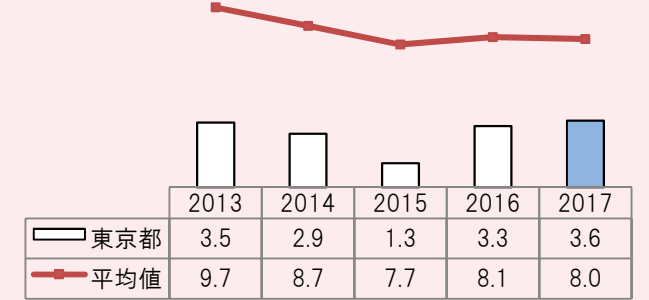
173.3円



他会計負担比率 (%)

＝（他会計補助金＋他会計負担金）／経常費用×100

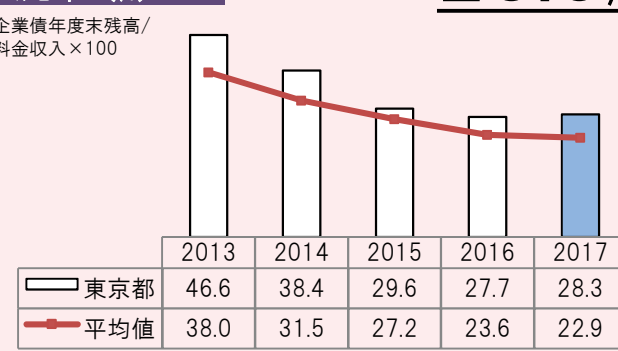
3.6%



企業債残高対料金
収入比率 (%)

＝企業債年度末残高／
料金収入×100

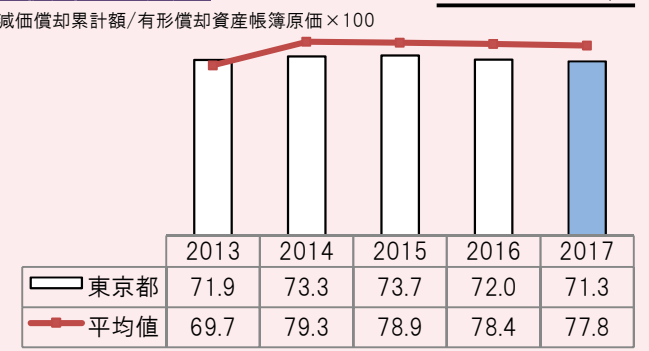
28.3%



有形固定資産
減価償却率 (%)

＝減価償却累計額／有形償却資産帳簿原価×100

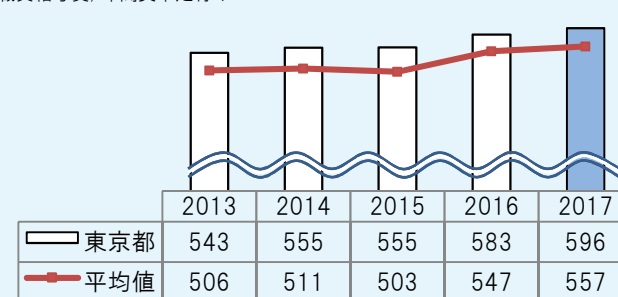
71.3%



走行キロ当たりの
人件費 (円)

＝職員給与費／年間実車走行キロ

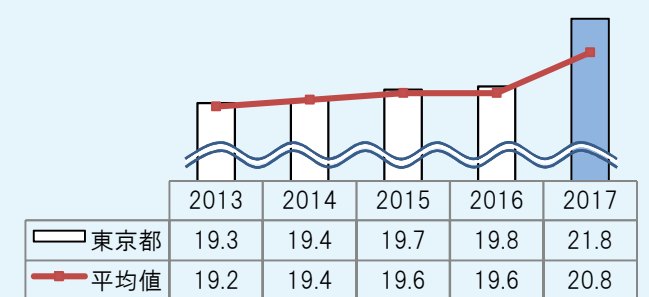
596円



乗車効率 (%)

＝{延人キロ／（年間実車走行キロ
×平均乗車定員数）}×100

21.8%



3 経営指標比較（事業別）
【都営バス】系統別収支状況（2018年度）

系 番 号	区 間	損益額	収入	支出	乗車料 収入	乗車 人員	営業 係数	
		(千円)	(千円)	(千円)	(千円/日)	(人/日)		
1	東22	錦糸町駅前～東京駅丸の内北口	377,745	1,115,412	737,667	2,805	18,211	66
2	都07	錦糸町駅前～門前仲町	317,128	1,259,469	942,341	3,128	21,253	75
3	品99	品川駅港南口～（品川埠頭循環）～品川駅港南口	283,729	669,004	385,275	1,700	10,234	58
4	新小21	西葛西駅前～新小岩駅前	209,929	828,771	618,842	2,061	13,919	75
5	上58	早稲田～上野松坂屋前	177,872	655,132	477,260	1,622	10,533	73
6	都02	大塚駅前～錦糸町駅前	151,806	1,289,397	1,137,591	3,130	20,177	88
7	北47	足立清掃工場前～北千住駅前	151,517	635,949	484,432	1,581	9,914	76
8	錦25	葛西駅前～錦糸町駅前	144,271	946,073	801,802	2,324	15,978	85
9	田87	渋谷駅前～田町駅前	128,844	713,554	584,710	1,717	10,545	82
10	王57	赤羽駅東口～豊島五丁目団地	110,518	603,210	492,692	1,483	9,519	82
11	白61	練馬車庫前～新宿駅西口	108,506	952,413	843,907	2,314	14,279	89
12	上69	小滝橋車庫前～（上野公園循環）～小滝橋車庫前	96,959	449,723	352,764	1,106	6,999	78
13	草63	池袋駅東口～浅草寿町（往路）、雷門一丁目（復路）	91,701	783,624	691,923	1,907	12,264	88
14	東16	東京駅八重洲口～東京ビッグサイト	90,551	713,768	623,217	1,735	10,419	87
15	王40	池袋駅東口～西新井駅前	75,219	1,368,102	1,292,883	3,310	21,121	95
16	飯64	小滝橋車庫前～（九段下循環）～小滝橋車庫前	59,032	336,621	277,589	825	5,167	82
17	都06	渋谷駅前～新橋駅前	58,584	767,298	708,714	1,812	11,065	92
18	都08	日暮里駅前～錦糸町駅前	54,702	681,258	626,556	1,649	10,786	92
19	品93	大井競馬場前～目黒駅前	50,757	629,484	578,727	1,528	9,421	92
20	都01	渋谷駅前～新橋駅前	49,343	960,832	911,489	2,243	13,084	95
21	品96	品川駅港南口～（天王洲アイル循環）～品川駅港南口	46,606	260,471	213,865	639	3,721	82
22	都04	豊海水産埠頭～東京駅丸の内南口	46,449	506,971	460,522	1,233	7,479	91
23	新小22	葛西駅前～新小岩駅前	45,997	518,670	472,673	1,262	8,323	91
24	池65	練馬車庫前～池袋駅東口	44,978	345,708	300,730	846	5,321	87
25	錦28	東大島駅前～錦糸町駅前	43,122	295,370	252,248	723	4,928	85
26	学06	恵比寿駅前～日赤医療センター前	42,028	190,238	148,210	465	3,421	78
27	里22	日暮里駅前～亀戸駅前	36,865	482,253	445,388	1,168	7,738	92
28	端44	北千住駅前～駒込病院前	33,802	405,957	372,155	983	6,141	92
29	葛西21	葛西駅前～葛西臨海公園駅前	31,669	344,163	312,494	837	5,481	91
30	上46	南千住駅東口～上野松坂屋前	28,003	418,530	390,527	1,011	6,687	93
31	池86	池袋駅東口～（渋谷駅東口循環）～池袋駅東口	19,774	543,888	524,114	1,292	8,422	96
32	王55	王子駅前～新田一丁目	18,602	397,747	379,145	960	6,095	95
33	品91	品川駅港南口～（八潮パークタウン循環）～品川駅港南口	17,885	339,149	321,264	819	4,957	95
34	亀21	東陽町駅前～亀戸駅前	17,806	322,554	304,748	781	5,293	94
35	学03	渋谷駅前～日赤医療センター前	17,763	404,704	386,941	963	7,167	96
36	東42	南千住車庫前～東京駅八重洲口	16,500	536,337	519,837	1,288	8,212	97
37	西葛27	西葛西駅前～臨海町二丁目団地前	14,713	262,154	247,441	635	4,178	94
38	井92	大井町駅東口～（八潮パークタウン循環）～大井町駅東口	14,427	282,903	268,476	684	4,325	95
39	錦18	錦糸町駅前～新馬場駅前	13,847	141,135	127,288	344	3,308	90
40	業10	新橋～とうきょうスカイツリー駅前	13,233	954,061	940,828	2,287	14,787	99
41	門33	亀戸駅前～豊海水産埠頭	11,830	507,286	495,456	1,223	8,212	98
42	東15	深川車庫前～東京駅八重洲口	8,498	271,475	262,977	654	4,011	97
43	臨海28	一之江橋西詰～葛西臨海公園駅前	6,422	573,375	566,953	1,380	8,914	99
44	田92	品川駅港南口～田町駅東口	706	89,680	88,974	214	1,250	99
45	亀24	葛西橋～亀戸駅前	▲280	304,080	304,360	730	4,984	100
46	葛西24	船堀駅前～なぎさニュータウン	▲1,146	247,671	248,817	592	3,926	100
47	宿91	新代田駅前～新宿駅西口	▲2,251	245,034	247,285	577	3,622	101
48	学02	高田馬場駅前～早大正門	▲2,845	288,751	291,596	688	4,738	101
49	平28	東大島駅前～（平井駅前循環）～東大島駅前	▲2,854	97,341	100,195	233	1,529	103
50	F L O 1	葛西駅前～錦糸町駅前	▲2,871	21,215	24,086	147	1,031	114
51	王45	王子駅前～北千住駅前	▲3,430	113,408	116,838	272	1,701	103
52	直行02	豊海水産埠頭～東京駅八重洲口	▲4,373	4,550	8,923	14	88	196
53	渋66	阿佐ヶ谷駅前～渋谷駅前	▲4,385	234,486	238,871	555	3,384	102
54	飯62	小滝橋車庫前～都営飯田橋駅前	▲5,943	33,147	39,090	77	502	118
55	新小29	葛西駅前～東新小岩四丁目	▲6,516	366,198	372,714	874	5,683	102
56	A L O 1	東大島駅前～（小松川二丁目循環）～東大島駅前	▲7,517	18,742	26,259	64	575	140
57	O・H O 1	新宿駅西口～（都庁第一本庁舎循環）～新宿駅西口	▲7,873	34,294	42,167	81	491	123
58	急行05	錦糸町駅前～日本科学未来館	▲8,497	87,347	95,844	314	3,945	110
59	錦22	臨海車庫～錦糸町駅前	▲9,315	80,768	90,083	191	1,268	112
60	豊洲01	豊洲駅前～（豊洲一丁目・豊洲駅前・チャンネルコート循環）～豊洲駅前	▲10,311	53,609	63,920	184	1,115	119
61	陽20	東陽町駅前～東大島駅前	▲10,847	40,766	51,613	94	636	127
62	反94	五反田駅～赤羽橋駅前	▲12,209	15,298	27,507	32	192	180
63	茶51	駒込駅南口～秋葉原駅前	▲12,349	165,819	178,168	393	2,408	107
64	草41	足立梅田町～浅草寿町	▲12,395	346,529	358,924	826	5,395	104
65	都05	晴海埠頭～東京駅丸の内南口	▲13,385	852,492	865,877	2,031	12,151	102

系 番 号	区 間	損益	収入	支出	乗車料 収入	乗車 人員	営業 係数	
		(千円)	(千円)	(千円)	(千円/日)	(人/日)		
66	亀29	なぎさニュータウン～亀戸駅前	▲13,599	412,886	426,485	987	6,840	103
67	錦40	南千住駅東口～錦糸町駅前	▲13,849	46,097	59,946	106	700	130
68	学05	目白駅前～日本女子大前	▲13,964	91,891	105,855	291	2,448	115
69	亀26	今井～亀戸駅前	▲14,011	191,320	205,331	452	3,071	107
70	田99	品川駅港南口～田町駅東口	▲15,191	13,090	28,281	26	160	216
71	橋63	小滝橋車庫前～新橋駅前	▲16,009	250,750	266,759	592	3,696	106
72	臨海22	臨海車庫～船堀駅前	▲16,513	35,384	51,897	80	536	147
73	学01	東大構内～上野駅前	▲17,324	75,277	92,601	174	1,196	123
74	新小20	東新小岩四丁目～一之江駅前	▲17,518	35,669	53,187	80	501	149
75	井96	大井町駅東口～（天王洲アイル循環）～大井町駅東口	▲18,184	56,691	74,875	129	778	132
76	井98	大井町駅東口～大井水産物埠頭前	▲18,923	57,340	76,263	162	951	133
77	亀23	亀戸駅前～（江東高齢者医療センター循環）～亀戸駅前	▲19,001	119,538	138,539	281	1,877	116
78	反96	五反田駅～六本木ヒルズ	▲19,700	248,188	267,888	588	3,575	108
79	船28	船堀駅前～篠崎駅前	▲20,374	29,914	50,288	65	428	168
80	西葛26	船堀駅前～葛西臨海公園駅前	▲20,659	62,955	83,614	144	951	133
81	RH01	渋谷駅前～六本木ヒルズ	▲21,646	176,589	198,235	413	2,343	112
82	西葛20	西葛西駅前～なぎさニュータウン	▲22,013	349,966	371,979	834	5,483	106
83	宿74	新宿駅西口～東京女子医大前	▲23,648	146,038	169,686	329	2,080	116
84	秋26	葛西駅前～秋葉原駅前	▲23,722	341,210	364,932	800	5,336	107
85	上60	池袋駅東口～上野公園	▲24,380	133,106	157,486	310	1,931	118
86	草39	金町駅前～上野松坂屋前	▲25,821	308,956	334,777	731	4,778	108
87	学07	東大構内～御茶ノ水駅前	▲26,577	82,892	109,469	189	1,253	132
88	品97	品川駅高輪口～新宿駅西口	▲26,625	421,287	447,912	991	6,228	106
89	王41	王子駅前～新田一丁目	▲27,348	209,164	236,512	492	3,126	113
90	錦27	小岩駅前～両国駅前	▲27,391	317,588	344,979	754	5,190	109
91	錦11	錦糸町駅前～築地駅前	▲27,636	126,017	153,653	292	1,841	122
92	早77	早稲田～新宿駅西口	▲28,062	211,445	239,507	491	3,120	113
93	王78	新宿駅西口～王子駅前	▲30,976	382,861	413,837	896	5,695	108
94	草64	池袋駅東口～浅草雷門南	▲31,413	445,207	476,620	1,056	6,834	107
95	錦37	青戸車庫前～錦糸町駅前	▲31,967	278,757	310,724	656	4,345	111
96	草43	足立区役所～浅草雷門	▲32,356	130,463	162,819	302	2,003	125
97	東20	東京駅丸の内北口～錦糸町駅前	▲33,095	87,004	120,099	195	1,242	138
98	門19	深川車庫前～門前仲町	▲33,510	189,331	222,841	444	2,831	118
99	梅76	裏宿町～上成木	▲35,574	111,089	146,663	250	1,921	132
100	高71	高田馬場駅前～九段下	▲37,946	138,823	176,769	313	1,964	127
101	浜95	品川車庫前～東京タワー	▲38,089	60,045	98,134	129	789	163
102	葛西22	葛西駅前～一之江駅前	▲38,700	71,558	110,258	158	1,048	154
103	木11	木場駅前～（東京レポト・新木場三丁目循環）～東陽町駅前	▲39,882	400,101	439,983	937	5,737	110
104	都03	晴海埠頭～四谷駅	▲40,050	98,932	138,982	222	1,335	140
105	草24	東大島駅前～浅草寿町	▲40,054	133,808	173,862	306	2,066	130
106	黒77	目黒駅前～千駄ヶ谷駅前	▲41,312	176,235	217,547	408	2,540	123
107	梅74	裏宿町～（成木循環）～裏宿町	▲43,151	46,484	89,635	96	703	193
108	Sー1	東京駅丸の内北口～錦糸町駅前	▲44,464	67,199	111,663	146	1,011	166
109	宿75	新宿駅西口～三宅坂	▲44,583	104,285	148,868	221	1,384	143
110	梅77	裏宿町～河辺駅北口	▲44,621	61,952	106,573	132	942	172
111	海01	門前仲町～東京テレポト駅前	▲45,261	716,227	761,488	1,696	11,174	106
112	門21	東大島駅前～門前仲町	▲46,308	137,619	183,927	314	2,105	134
113	平23	葛西駅前～平井駅前	▲46,536	140,365	186,901	320	2,145	133
114	錦13	錦糸町駅前～晴海埠頭	▲48,061	590,162	638,223	1,383	9,028	108
115	東43	荒川土手操車所前～東京駅丸の内北口	▲49,679	511,519	561,198	1,210	7,596	110
116	波01	東京テレポト駅前～中央防波堤	▲51,781	92,618	144,399	206	1,342	156
117	上23	平井駅前～上野松坂屋前	▲52,706	334,143	386,849	782	5,160	116
118	両28	葛西橋～両国駅前	▲53,269	183,794	237,063	422	2,841	129
119	上26	亀戸駅前～上野公園	▲57,082	118,861	175,943	266	1,745	148
120	陽12	東陽町駅前～昭和大学江東豊洲病院	▲58,682	88,680	147,362	193	2,514	166
121	市01	新橋駅前～（築地中央市場循環）～新橋駅前	▲61,688	88,991	150,679	191	1,537	169
122	王49	千住車庫前～王子駅前	▲64,788	351,054	415,842	822	5,298	118
123	渋88	渋谷駅前～新橋駅前	▲68,053	138,292	206,345	290	1,734	149
124	橋86	目黒駅前～新橋駅前	▲75,386	132,625	208,011	291	1,825	157
125	品98	品川駅港南口～大田市場	▲78,130	281,880	360,010	650	3,812	128
126	早81	早大正門～（渋谷駅東口循環）～早大正門	▲81,817	109,028	190,845	230	1,437	175
127	里48	日暮里駅前～見沼代親水公園駅前	▲120,444	90,004	210,448	176	1,110	234
128	梅70	青梅車庫前～花小金井駅北口	▲193,017	228,976	421,993	498	2,744	181



軌道事業/東京さくらトラム（都電荒川線）

東京さくらトラム（都電荒川線）は、三ノ輪橋～早稲田間12.2kmを運行しており、2018年度は、一日平均約4.8万人のお客様にご利用いただきました。

年間輸送人員

1,734万人

在籍車両数

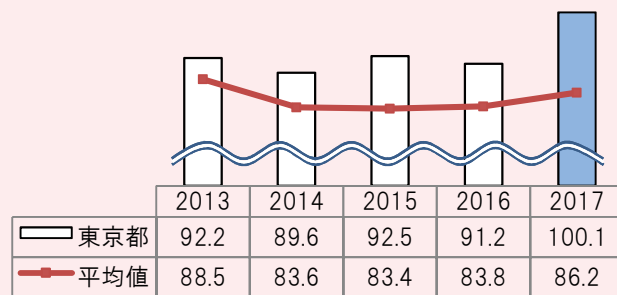
33両

経営の健全性

営業収支比率（%）

＝営業収益/営業費用×100

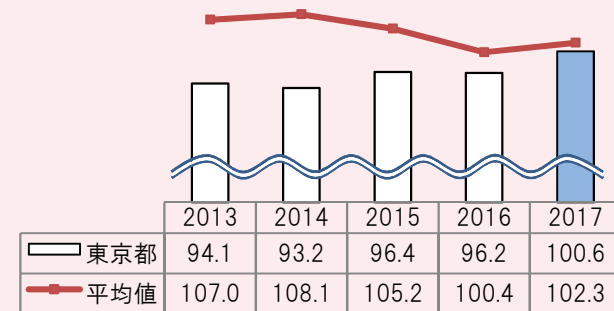
100.1%



経常収支比率（%）

＝経常収益/経常費用×100

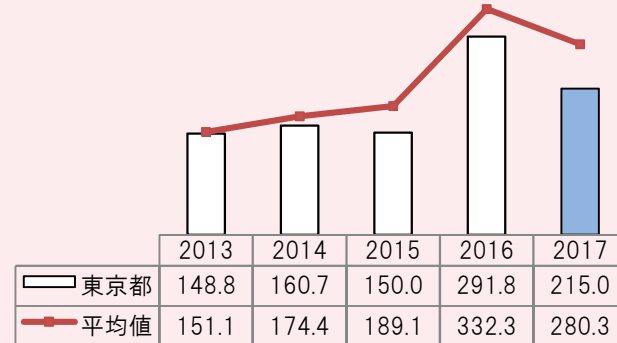
100.6%



流動比率（%）

＝流動資産/流動負債×100

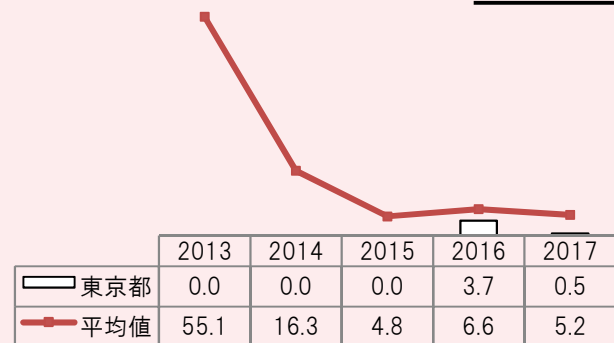
215.0%



累積欠損金比率（%）

＝当年度未処理欠損金/営業収益×100

0.5%



経営の効率性

走行キロ当たりの収入（円）

＝経常収益/年間客車走行キロ

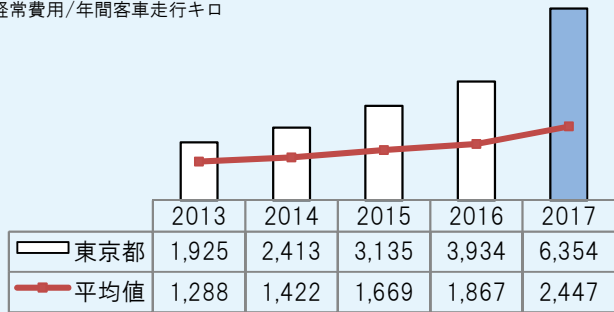
6,392円



走行キロ当たりの運送原価（円）

＝経常費用/年間客車走行キロ

6,354円



経営の健全性

- 「経常収支比率」は、車両の更新に伴う減価償却費が大きいことなどにより、平均値よりも低い水準で推移しています。
- 「他会計負担比率」は平均値より低い水準にあります。
- 「企業債残高対料金収入比率」は、車両及び設備の更新に伴って、企業債を発行した影響により、2015年度から増加しています。

経営の効率性

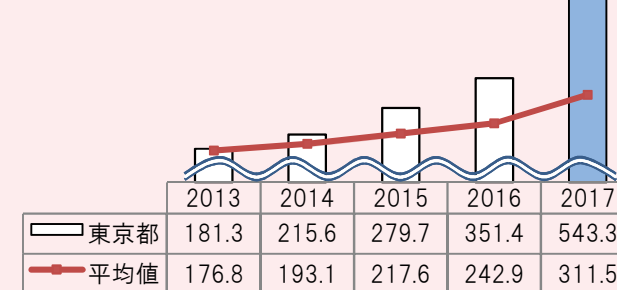
- 「走行キロ当たりの収入」及び「走行キロ当たりの運送原価」は2013年度と比較して、受託工事*1が増加した影響により、大きく増加しています。

*1 軌道に隣接する道路建設等の街路整備事業に伴い、交通局が建設局及び都市整備局から受託して行う、軌道移設や道路工事等

利用者1回当たり
運行経費（円）

＝経常費用/年間輸送人員

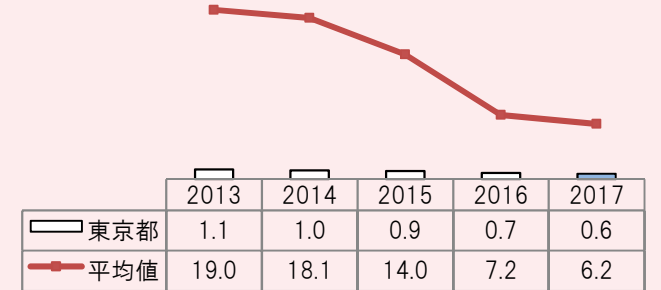
543.3円



他会計負担比率（%）

＝（他会計補助金＋他会計負担金）/経常費用×100

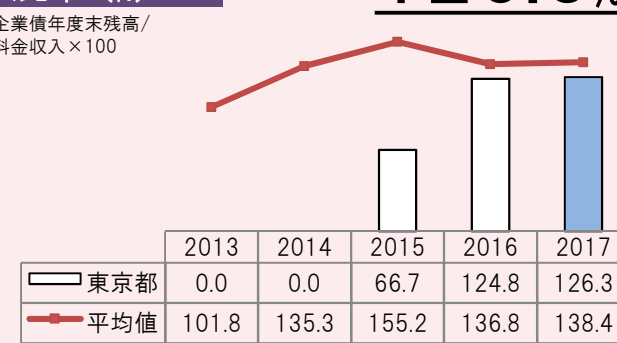
0.6%



企業債残高対料金
収入比率（%）

＝企業債年度末残高/
料金収入×100

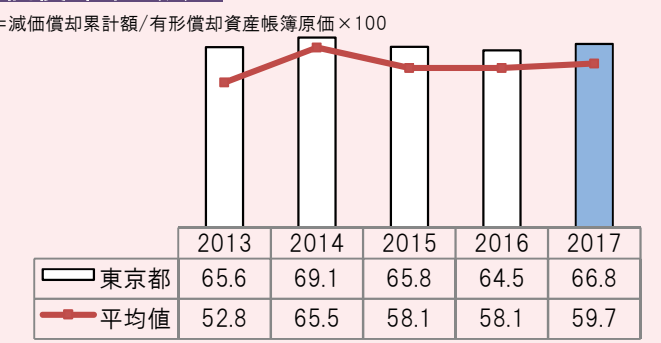
126.3%



有形固定資産
減価償却率（%）

＝減価償却累計額/有形償却資産帳簿原価×100

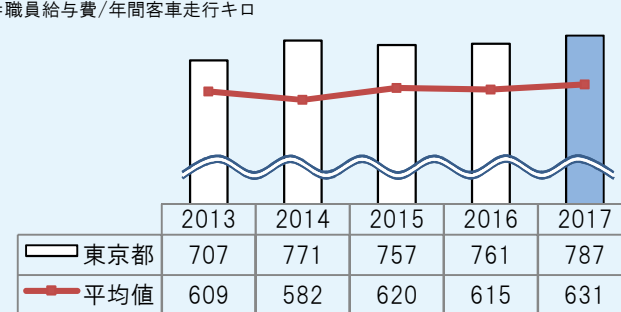
66.8%



走行キロ当たりの
人件費（円）

＝職員給与費/年間客車走行キロ

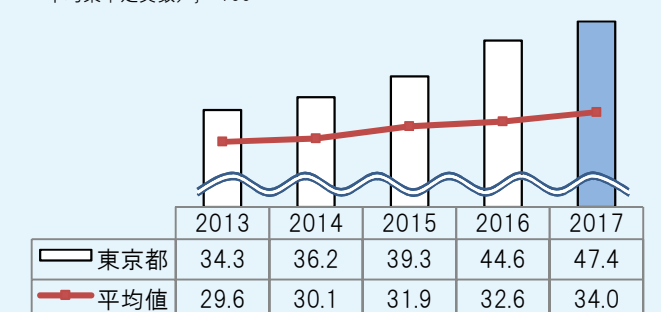
787円



乗車効率（%）

＝{延人キロ/（年間客車走行キロ
×平均乗車定員数）}×100

47.4%





新交通事業 / 日暮里・舎人ライナー

日暮里・舎人ライナーは、日暮里～見沼代親水公園間9.7kmを運行しており、2018年度は、一日平均約8.9万人のお客様にご利用いただきました。

年間輸送人員

3,243万人

在籍車両数

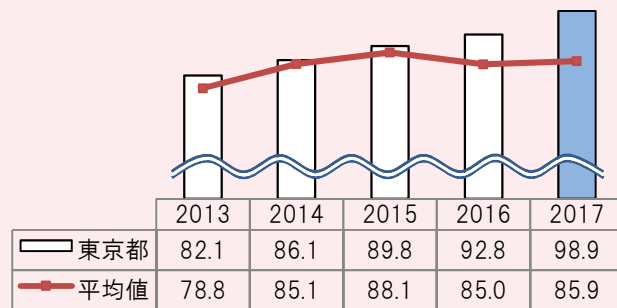
90両

経営の健全性

営業収支比率 (%)

＝営業収益/営業費用×100

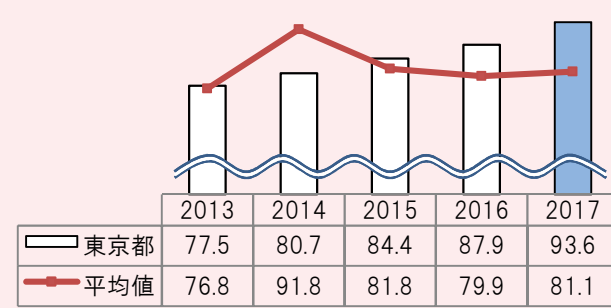
98.9%



経常収支比率 (%)

＝経常収益/経常費用×100

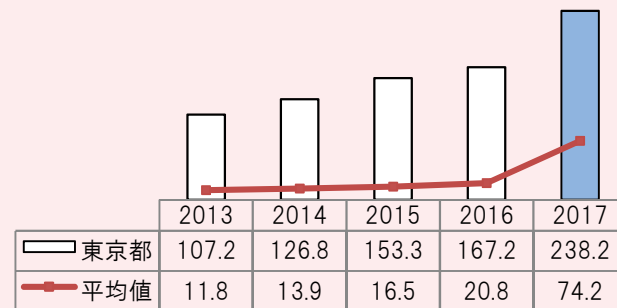
93.6%



流動比率 (%)

＝流動資産/流動負債×100

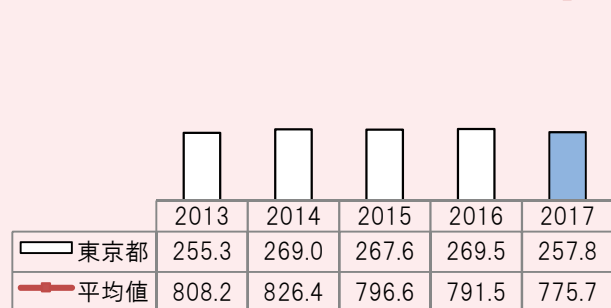
238.2%



累積欠損金比率 (%)

＝当年度未処理欠損金/営業収益×100

257.8%

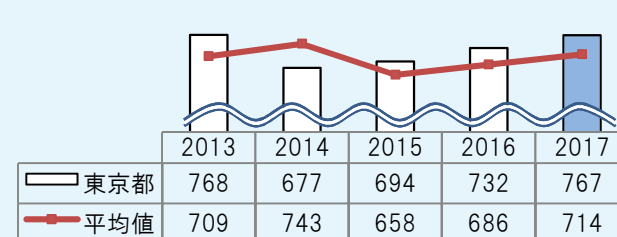


経営の効率性

走行キロ当たりの収入 (円)

＝経常収益/年間客車走行キロ

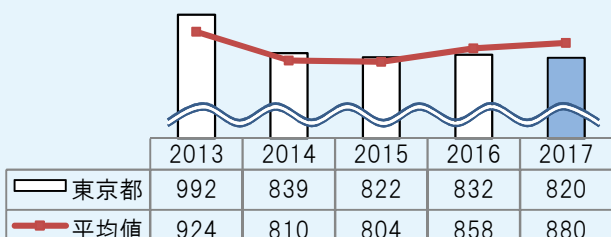
767円



走行キロ当たりの運送原価 (円)

＝経常費用/年間客車走行キロ

820円



経営の健全性

- 営業収益の増加などにより、「営業収支比率」及び「経常収支比率」は改善しているものの、費用が増加傾向にあることなどから、赤字が続いています。
- 「他会計負担比率」は他事業よりも低い水準にあります。

経営の効率性

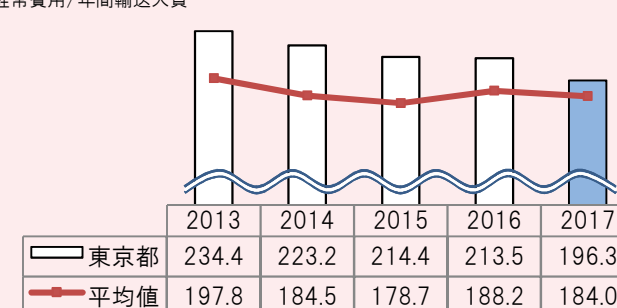
- 朝ラッシュなど、混雑率が高い時間帯がある一方、昼間や休日における乗車人員が少ないことから、「乗車効率」は上昇傾向にあるものの、低い水準で推移しています。

(注) 総務省の公表数値を使用しているため、懸垂電車事業の数値は、新交通事業の指標に含む。

利用者1回当たり
運行経費 (円)

＝経常費用/年間輸送人員

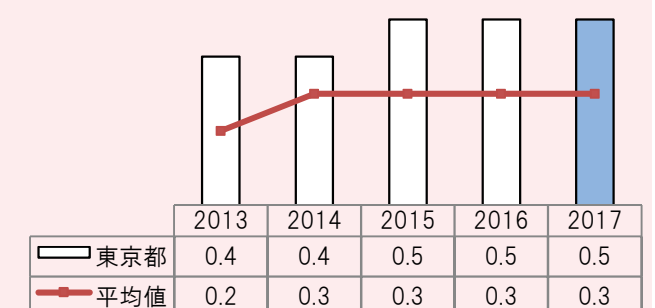
196.3円



他会計負担比率 (%)

＝(他会計補助金+他会計負担金)/経常費用×100

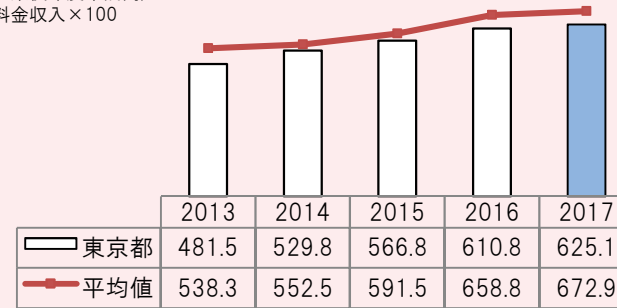
0.5%



企業債残高対料金
収入比率 (%)

＝企業債年度末残高/
料金収入×100

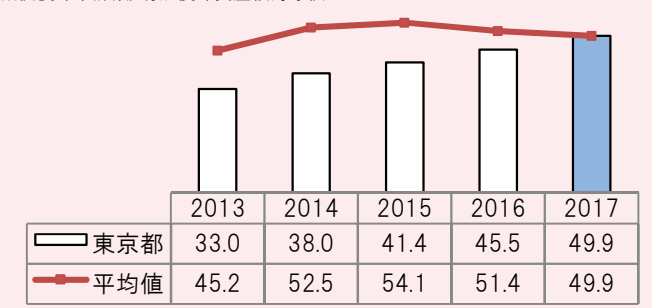
625.1%



有形固定資産
減価償却率 (%)

＝減価償却累計額/有形償却資産帳簿原価×100

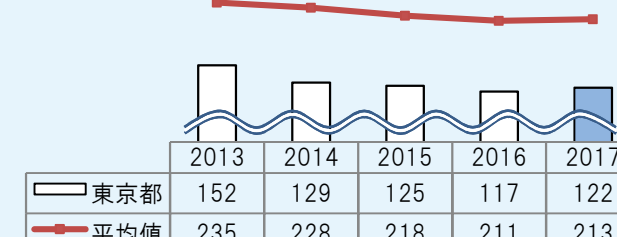
49.9%



走行キロ当たり
の人員費 (円)

＝職員給与費/年間客車走行キロ

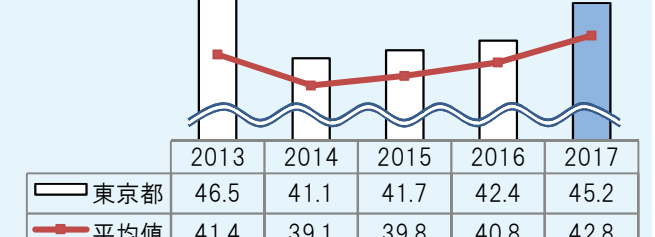
122円



乗車効率 (%)

＝{延人キロ/(年間客車走行キロ
×平均乗車定員数)}×100

45.2%



3 経営指標比較（事業別）
【日暮里・舎人ライナー】駅別一日平均乗降人員（2018年度）

(単位：人・%)

駅名	2018年度	前年比
日暮里	53,093	3.1
西日暮里	30,249	3.8
見沼代親水公園	13,371	2.8
西新井大師西	11,978	2.4
江北	10,532	6.5
谷在家	10,503	3.2
扇大橋	9,874	3.2
熊野前	9,722	2.0
舎人	8,513	4.2
高野	6,174	5.3
赤土小学校前	5,206	3.8
舎人公園	4,561	1.4
足立小台	3,931	△0.2



上野動物園モノレールについて

上野動物園の東園と西園を結ぶモノレールは、将来の新しい都市交通機関として実験的に建設した我が国で最初のモノレールです。

この路線は、動物園の遊戯施設ではなく、鉄道事業法に基づく交通機関として営業しています。

昭和32年の開業以来、交通局の施設として運営してきましたが、平成12年に上野動物園を所管する東京都建設局に施設を無償で譲渡し、交通局がその施設を用いて運行を行っています。

なお、車両の経年劣化に伴い、令和元年11月1日から運行を休止しています。

営業区間	上野動物園東園～上野動物園西園
営業キロ	0.3km
定員	62人 (31人/両)
所要時間	約1分半
開業	昭和32年12月17日 (※日本初)





電気事業 / 発電

電気事業は明治44年に始まり、現在、多摩川第一発電所、多摩川第三発電所及び白丸発電所の3か所の水力発電所を運転しており、2018年度は、約11万MWhの電力を販売しました。

年間発電電力量

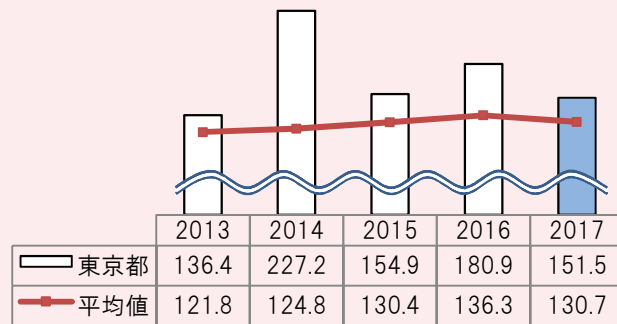
一般家庭 **35,000** 世帯分の使用量に相当

経営の状況

営業収支比率 (%)

= 営業収益 / 営業費用 × 100

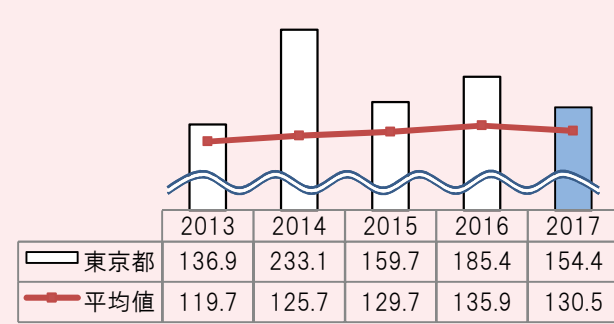
151.5%



経常収支比率 (%)

= 経常収益 / 経常費用 × 100

154.4%

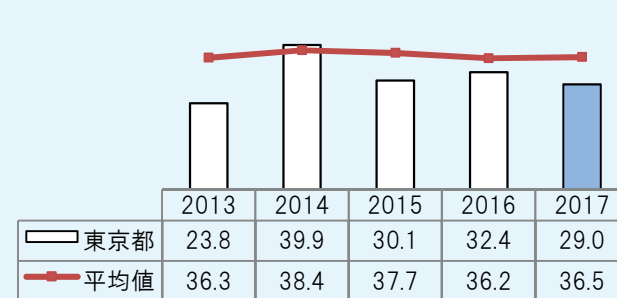


経営のリスク

設備利用率 (%)

= {年間発電電力量 / (最大出力 × 24h × 365日)} × 100

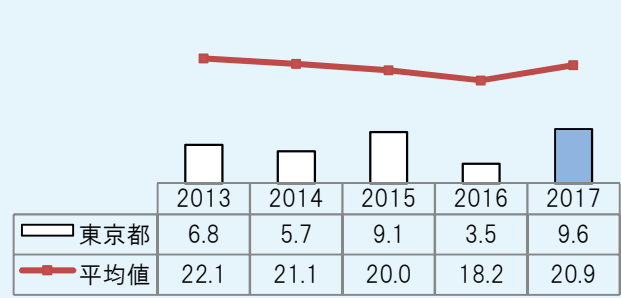
29.0%



修繕費比率 (%)

= {修繕費 / (営業費用 - 職員給与費)} × 100

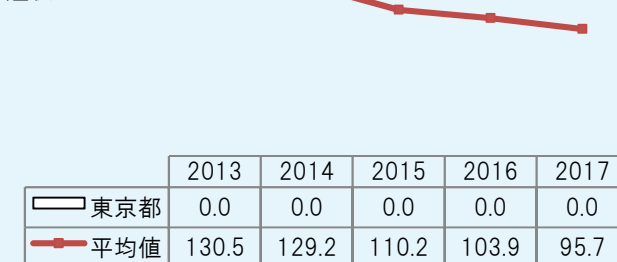
9.6%



企業債残高対料金収入比率 (%)

= 企業債年度末残高 / 料金収入 × 100

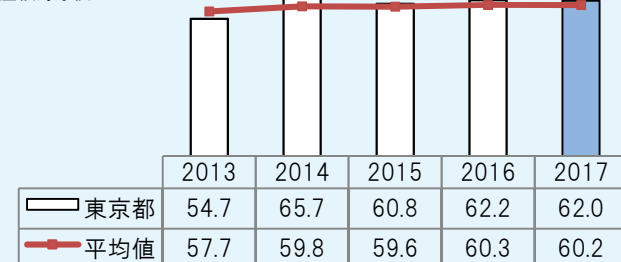
0%



有形固定資産減価償却率 (%)

= 減価償却累計額 / 有形償却資産帳簿原価 × 100

62.0%



経営の状況

○販売電力量の減少により電力量収入が減少したため「営業収支比率」、「経常収支比率」は前年度より数値が低下していますが、「営業収支比率」、「経常収支比率」、「流動比率」とも安定して100%を上回って推移しており、経営状況は安定しています。

経営のリスク

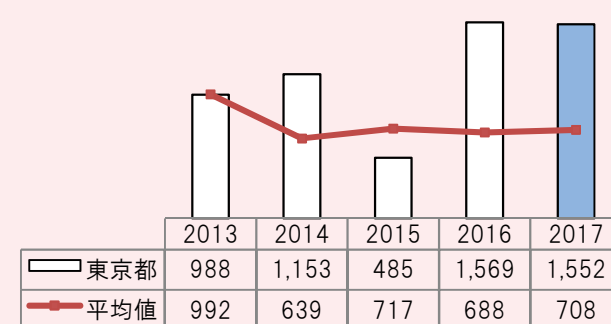
○「設備利用率」はダム放流量の増減等により発電量が左右されることから、年度ごとの変動が大きく、平均値と比べて2017年度は低くなっています。
○「修繕費比率」は2013年度以降、堆砂量が少なく土石排除工事を行っていないことなどから、平均値に比べ、低く推移しています。

(注)「修繕費比率」については、経営レポート2018 から総務省公表の算出式に変更

流動比率 (%)

= 流動資産 / 流動負債 × 100

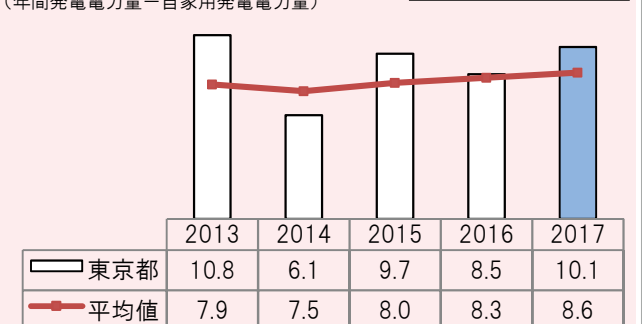
1,552%



供給原価 (円)

= (経常費用 - 長期前受金戻入) / (年間発電電力量 - 自家発電電力量)

10.1円





関連事業（不動産等活用事業・広告事業・構内営業事業）

関連事業とは、都営地下鉄、都営バス等の本来事業の経営基盤の強化に寄与し、質の高いサービスを提供するために、土地、建物などの資産の有効活用や広告事業を展開し、長期的に安定した収入を確保する事業です。

収入

（不動産等活用事業・
広告事業・構内営業事業）

116億円

主な事業

収入（2018年度）

不動産等活用事業

事業跡地や鉄道高架下などの土地を、ビル・店舗・駐車場等の用地として、また、駅出入口ビル、局隣接地との共同開発等により建設したオフィスビルなどの貸付けを行い、賃貸料収入を得ています。
このほか、通信事業者に対し、駅やトンネル内への携帯電話等の基地局設置スペース提供や、光ファイバーケーブルの貸付けを行い収入を得ています。

73.1億円

（内訳）

- ・高速電車 43.5億円
- ・自動車運送 25.3億円
- ・軌道 3.5億円
- ・新交通 0.7億円
- ・電気 0.1億円

広告事業

地下鉄、バス、東京さくらトラム（都電荒川線）、日暮里・舎人ライナーにおける車両や駅、停留所等を活用し、ポスターやステッカー、デジタル広告などの販売により広告料収入を得ています。
また、地下鉄車内液晶モニターの増設や新規媒体の導入などに努めています。

32.9億円

（内訳）

- ・高速電車 26.5億円
- ・自動車運送 5.5億円
- ・軌道 0.5億円
- ・新交通 0.3億円

* 0.1億円未満の事業は除く

構内営業事業

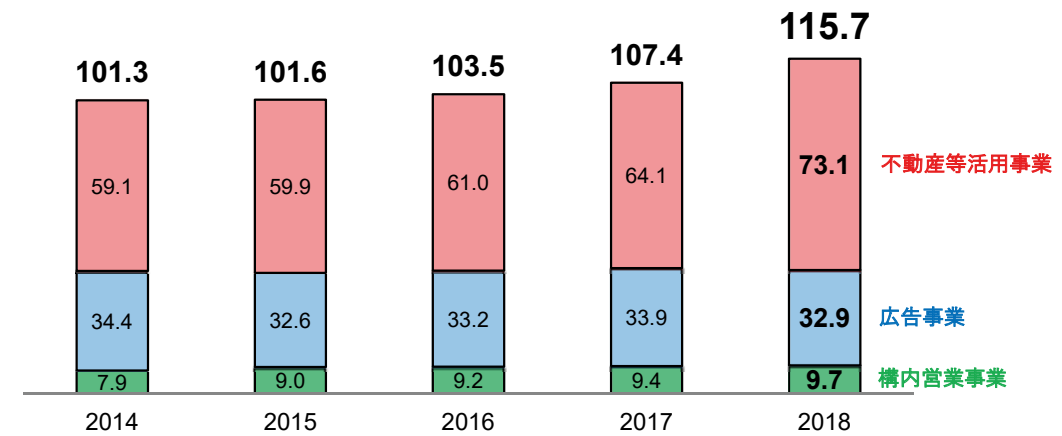
駅構内に店舗や自動販売機、期間限定ショップ、金融機関ATM、宅配受取ロッカーなどの様々な便利施設を設けているほか、PASMO電子マネーが使用できる店舗の拡大を通じて、お客様の利便性向上を図るとともに、構内営業料収入を得ています。

9.7億円

（内訳）

- ・高速電車 9.5億円
- ・新交通 0.2億円

関連事業収入（不動産等活用事業・広告事業・構内営業事業）の推移（単位：億円）



主なラインナップ（2018年度）

イメージ

- ＜土地＞ 建物敷地（オフィス・商業ビル）
店舗敷地
駐車場、駐輪場
- ＜建物＞ 共同ビル（目黒セントラルスクエア、ラティス
青山スクエア、東京交通会館、有楽
町駅前ビル “イトシア”）
駅出入口ビル（代々木クリスタルビル）
- ＜構築物＞ 光ファイバーケーブル
携帯電話、無線LAN基地局



東京交通会館



目黒セントラルスクエア
有楽町駅前ビル（イトシア）

- ＜車両媒体＞ 中張りポスター
まど上ポスター
車内液晶モニター
ラッピングバス
- ＜駅媒体＞ 駅張りポスター
電飾ボード
駅構内デジタルサイネージ
- ＜停留所＞ 広告付バス停留所



車内液晶モニター



電飾ボード



駅構内デジタルサイネージ



広告付バス停留所

- ＜店舗・売店＞ メルシー売店
コンビニエンスストア
カフェ
期間限定ショップ
- ＜サービス機器＞ 飲料自動販売機
金融機関ATM
コインロッカー
宅配受取ロッカー



メルシー売店



コンビニエンスストア



飲料自動販売機



コインロッカー



宅配受取ロッカー

4 経営計画2016の進捗状況 進捗状況（2018年度時点）

交通局では、東京2020大会も見据え、2016年度から2021年度までの6か年を計画期間とする「東京都交通局経営計画2016」を2016年2月に策定しました。

東京の都市活動や都民生活を支える公共交通機関として、安全・安心の確保を最優先に、質の高いサービスを提供するとともに、まちづくりや観光振興、環境負荷の低減など東京の発展に貢献するため、様々な取組を進めてきました。

前期3か年の最終年となる2018年度は、契約不調等により、一部の事業で進捗が遅れたものの、計画策定後の状況変化にも対応しながら、掲げた施策の達成に向け着実に取組を進めました。

また、財政収支については、全ての事業において収支目標を達成することができました。

本レポートでは、2018年度の主な取組について進捗状況をまとめました。

○ 計画事業費：1,574億円（2016年度～2018年度の3か年）

※ 重複控除後

○ 財政収支計画

（税込み）

事業	事項	2016年度	2017年度	2018年度
高速電車事業 （都営地下鉄）	収支目標	累積欠損金の縮減に努める		
	経常損益	200億円程度の黒字で推移		
	実績	348億円	360億円	385億円
自動車運送事業 （都営バス）	収支目標	経常損失の改善に努める		
	経常損益	9～19億円程度の赤字で推移		
	実績	3.2億円	11.1億円	13.8億円
軌道事業 （東京さくらトラム （都電荒川線））	収支目標	経常損失の改善に努める		
	経常損益	3～4億円程度の赤字で推移		
	実績	▲1.2億円	0.8億円	▲3.3億円
新交通事業 （日暮里・舎人ライナー）	収支目標	経常損失の改善に努める		
	経常損益	9～13億円程度の赤字で推移		
	実績	▲7.5億円	▲4.1億円	▲5.3億円
電気事業 （発電）	収支目標	経常利益の確保に努める		
	経常損益	3～6億円程度の黒字で推移		
	実績	7.8億円	5.5億円	7.1億円

ホームページへの掲載について

「経営計画2016」の進捗状況については、ホームページからダウンロードしてご覧いただけます。
東京都交通局ホームページ > 交通局について > 経営情報 > 経営計画 > 東京都交通局経営計画2016
平成30年度進捗状況
<https://www.kotsu.metro.tokyo.jp/about/information/plan/achievement2018.html>



経営計画2019について

2019年度以降の後期3か年については、経営計画2016策定後の事業環境の変化等を踏まえ、同計画を改定することとし、2019年1月に「東京都交通局経営計画2019」として策定しました。
これに伴い、年次計画の「2021年度までの到達目標」についても、一部改定しております。
（「経営計画2019」はこちら）<https://www.kotsu.metro.tokyo.jp/about/information/plan/plan2019.html>



史上最高のオリンピック・パラリンピックの実現に向けた取組

史上最高のオリンピック・パラリンピックの実現に向け、局一丸となってハード・ソフト両面から取組を進めました。

東京2020大会に向けた都営地下鉄の主な取組

○ エレベーター整備の推進

乗換駅等でのエレベーター整備について、新宿線神保町駅など6駅で増設を完了しました。

	2016年度	2017年度	2018年度	2021年度までの到達目標
計画	順次増設	→	→	16駅
実績	4駅 工事着手	1駅完了	6駅完了	



新宿線神保町駅へ増設したエレベーター

○ 誰もが利用しやすい券売機の導入

都営地下鉄駅の自動券売機について、8言語対応の券売機への更新を進めました。

		2016年度	2017年度	2018年度	2021年度までの到達目標
券売機等	計画	順次更新	約110台更新	約250台更新	—
	実績	131台更新	106台更新	106台更新	
次世代券売機	計画	32台	—	—	—
	実績	32台	—	—	



次世代券売機
（路線表示機能付券売機）

○ コンシェルジュ（駅案内係）の配置拡大

英語が話せるコンシェルジュの配置駅を拡大するとともに、中国語での案内も可能な駅を拡大しました。

	2016年度	2017年度	2018年度	2021年度までの到達目標
計画	4駅 配置拡大	3駅 配置拡大	—	10駅配置拡大 （累計30駅） （東京2020大会まで）
実績	4駅 配置拡大	3駅 配置拡大	2駅 配置拡大	



コンシェルジュによる乗車券の購入案内

東京2020大会に向けた都営バスの主な取組

○ 燃料電池バスの先導的な導入

水素社会の実現に貢献するため、燃料電池バスの導入を進め、計15両に拡大しました。

	2016年度	2017年度	2018年度	2021年度までの到達目標
計画	2両導入	順次 導入拡大	→	80両導入
実績	2両導入	3両追加導入 （計5両）	10両追加導入 （計15両）	



追加導入した燃料電池バス

安全・安心の確保

安全・安心を最優先し、災害に強く、事故のない都営交通を実現するため、全職員が一丸となって取組を進めました。

安全対策の強化

○ ホーム事故「0」を目指した取組

（新宿線）2019年秋までのホームドア全駅整備完了に向けて、順次ホームドアの設置を進めており、本八幡駅から岩本町駅までの14駅について、運用を開始しました。また、新線新宿駅についても、京王電鉄が設置工事を行い、運用を開始しました。

（浅草線）東京2020大会までに新橋駅・大門駅・三田駅・泉岳寺駅の4駅にホームドアを先行整備するため、機器製作等に着手しました。また、2023年度までの全ての当局管理駅への整備完了に向け、引き続き検討を進めました。

		2016年度	2017年度	2018年度	2021年度までの到達目標
新宿線	計画	準備工事	→	順次整備	全駅整備完了 (2019年秋まで)
	実績	準備工事	先行整備	順次整備	
浅草線	計画	仕様検討	準備工事	→	新橋駅・大門駅・三田駅・ 泉岳寺駅への整備 (東京2020大会まで)
	実績	仕様検討	準備工事	準備工事	



新宿線ホームドア

災害対策等の強化

○ 地下鉄の早期運行再開を図るための耐震対策

東日本大震災を踏まえた更なる耐震対策として、高架部の橋脚及び地下部の中柱の補強を順次進めていますが、契約不調等により遅れが生じたため、2018年度末時点で約3割の工事完了となりました。

	2016年度	2017年度	2018年度	2021年度までの到達目標
計画	順次実施	→	約5割 工事完了	約7割工事完了
実績	順次実施	順次実施	約3割 工事完了	



高架部橋脚の耐震補強工事の様子

○ 地下鉄における防犯カメラの増設

テロ対策等に向けた更なるセキュリティ強化を図るため、地下鉄駅構内に防犯カメラを増設するとともに、車内でのいたずらや迷惑行為等、犯罪行為を防止するため、地下鉄車内への防犯カメラの設置を進めました。また、映像を解析することで不審物の置き去り等を検知する新技術を活用したカメラの実用化に向けて、都庁前駅で検証実験を実施しました。

	2016年度	2017年度	2018年度	2021年度までの 到達目標
計画	順次増設	→	→	重点整備箇所への設置完了 (東京2020大会まで)
実績	順次増設	順次増設	順次増設	



車内防犯カメラ

質の高いサービスの提供

お客様が求める質の高いサービスを提供し、快適で利用しやすい都営交通を実現するため、取組を進めました。

輸送需要への的確な対応

○ 地下鉄の輸送力の増強

大江戸線において、車両を3編成増備し、輸送力を増強しました。

		2016年度	2017年度	2018年度	2021年度までの到達目標
大江戸線 増備	計画	—	—	3編成	—
	実績	—	—	3編成	
新宿線 10両編成化	計画	5編成	5編成	—	—
	実績	5編成	5編成	—	



大江戸線増備車両

○ 日暮里・舎人ライナーの車両増備

2019年度末の2編成増備に向けて、車両の設計・製造を進めました。

	2016年度	2017年度	2018年度	2021年度までの到達目標
計画	1 編成増備	—	—	2 編成増備 (2019年度まで) *
実績	1 編成増備	(追加 2 編成増備) 設計・製造	(追加 2 編成増備) 設計・製造	

*当初計画からの変更

旅行者にも利用しやすい環境の整備

○ 地下鉄車内での無料Wi-Fi環境の整備

地下鉄車内での無料Wi-Fiサービスの導入を順次拡大しました。

	2016年度	2017年度	2018年度	2021年度までの到達目標
計画	順次整備	→	→	全車両整備完了 (東京2020大会まで)
実績	順次整備	順次整備	順次整備	

新たなバスモデルの展開

○ 新たなバスモデルの展開

車内後方の通路段差を解消したフルフラットバスについて、29両導入し、国内で初めて営業運行を開始しました。

駅改札口やバス停留所から車内まで連続した情報案内を提供するため、LEDカラー行先表示器や観光情報等を表示する液晶モニターの導入を進めました。

	2016年度	2017年度	2018年度	2021年度までの到達目標
計画	路線選定・仕様検討	試行実施	検証・拡大	5系統で展開
実績	路線・仕様の検討	「都営バス構想2020」公表 (フルフラットバス) 仕様検討・発注 (行先表示器・液晶モニター) 順次導入	(フルフラットバス) 運行開始 (行先表示器・液晶モニター) 順次導入	



フルフラットバス外観



ノンステップバス（左）とフルフラットバス（右）の車内比較

東京の発展に貢献

首都東京が抱える様々な課題に果敢に挑戦し、東京の発展に貢献する都営交通を実現するため、取組を進めました。

まちづくりとの連携

○ 泉岳寺駅の大規模改良

品川駅周辺のまちづくりに合わせ、市街地再開発事業と一体となって実施する泉岳寺駅の大規模改良について、必要な認可手続等を経て、土木工事に着手しました。

	2016年度	2017年度	2018年度	2021年度までの到達目標
計画	都市計画変更手続実施設計	都市計画変更施設変更認可	工事着手	—
実績	都市計画変更手続実施設計	都市計画変更施設変更認可申請実施設計	施設変更認可工事着手	

○ 勝どき駅の大規模改良

駅の混雑緩和と利便性の向上を図るため、大規模改良工事を進めている大江戸線勝どき駅について、2019年2月に新設ホーム、コンコース及び出入口の供用を開始しました。

	2016年度	2017年度	2018年度	2021年度までの到達目標
計画	建築・設備工事	→	供用開始	既設ホームの改良完了 (2020年度まで)
実績	建築・設備工事	建築・設備工事	供用開始	

＜勝どき駅の大規模改良＞



新設ホーム



新設出入口

持続可能な社会の実現への貢献

○ バス停留所へのLED照明の設置拡大

バス停留所において、LED照明の設置を拡大し、省エネの取組を推進しました。

	2016年度	2017年度	2018年度	2021年度までの到達目標
計画	100棟	100棟	100棟	520棟
実績	100棟	100棟	100棟	



照明をLED化したバス停留所上屋

沿線地域の発展に貢献

○ 沿線地域との連携

東京さくらトラム（都電荒川線）の更なる利用者の誘致や沿線地域の活性化を図るため、沿線4区等と連携し、スタンプラリーやイベントを実施するなど、積極的なPRを行いました。

日暮里・舎人ライナーの魅力向上と沿線地域の活性化に向けて、地元区や沿線施設と連携したイベント等を実施しました。

都営バス営業所において、地元の警察署と連携して、高齢者の方や小学生等を対象とした交通安全教室を実施し、交通安全意識の啓発を図りました。

都の青少年健全育成対策の取組と連携して、地下鉄駅・都営バス営業所・荒川電車営業所において、中学生の職場体験に協力しました。



さくらライナー

経営基盤の強化

事業環境の変化にも迅速かつ的確に対応するとともに、中長期的に安定した事業運営を行っていくため、経営基盤の強化に向けて取組を進めました。

関連事業の推進

○ 資産の利活用

局の所有する不動産を有効活用し、安定した収入を確保するため、都営バス大塚支所跡地について定期借地権者の公募を実施し、事業者を決定しました。（2019年4月1日から利活用開始）

また、大門庁舎（浜松町）については、再開発設立組合認可を受け、権利変換認可に向けた関係機関との協議・検討を進めました。

		2016年度	2017年度	2018年度	2021年度までの到達目標
都営バス大塚支所跡地	計画	公募準備	公募実施	利活用開始	—
	実績	公募準備	公募準備	公募実施事業者決定	※2019年4月1日から利活用開始
大門庁舎（浜松町）	計画	都市計画決定	再開発組合設立認可	権利変換計画認可	—
	実績	都市計画決定	利活用検討	再開発組合設立認可	

○ 広告付バス停留所上屋の拡大

民間事業者を活用した整備手法も取り入れながら、設置を拡大しました。

	2016年度	2017年度	2018年度	2021年度までの到達目標
計画	20棟	20棟	20棟	100棟 (東京2020大会まで)
実績*	9棟	50棟	54棟	

*PPP（パブリックプライベートパートナーシップ）事業者施工分を含む。



広告付バス停留所上屋

安定的な人材の確保と育成

○ 運輸系職員の人材確保

事業を支える有為な人材の安定的な確保のため、高等学校や専門学校への働きかけを強化しました。また、バス乗務員の確保を図るため、採用PR動画の配信や転職イベントへの参加を行うとともに、大型二種免許取得を支援する養成型選考での採用予定人数を拡大しました。

○ プロフェッショナル職員の育成と技術の継承

保守職員の技術力の維持・向上を図るため、研修所における研修や、外部の技術専門機関等を活用した専門研修を実施するとともに、電気や保線等の保守職場において模擬実習設備を整備し、実践的な研修・訓練を行いました。

ホームページの情報公開ポータルでは、次の内容を紹介しています

(1) 交通局の概要

(<https://www.kotsu.metro.tokyo.jp/about/service/>)

(2) 東京都交通局経営計画

(<https://www.kotsu.metro.tokyo.jp/about/information/plan/>)

(3) 予算

(<https://www.kotsu.metro.tokyo.jp/about/information/budget.html>)

(4) 決算

(<https://www.kotsu.metro.tokyo.jp/about/information/closing/>)

(5) 情報公開の状況

(https://www.kotsu.metro.tokyo.jp/about/koukai/open_situation.html)

(6) 要綱・要領一覧

(https://www.kotsu.metro.tokyo.jp/about/yoko_yoryo/)

(7) 東京都交通局のサービス推進活動

(https://www.kotsu.metro.tokyo.jp/about/koukai/promotion_activity.html)

(8) 自律改革に向けた取組

(<https://www.kotsu.metro.tokyo.jp/about/koukai/reform.html>)

(9) 公金支出情報

(<https://www.kotsu.metro.tokyo.jp/about/koukai/koukin.html>)

(10) 職務に対する働きかけの対応状況

(<https://www.kotsu.metro.tokyo.jp/about/koukai/hatarakikake.html>)

など



※(1)～(5)へのリンク



※(6)～(10)へのリンク

このレポートに対するご意見・ご要望をお寄せください

お寄せいただいたご意見・ご要望を参考とさせていただき、より分かりやすい経営情報の発信に努めます。

ご意見・ご要望などは、交通局ホームページの「ご意見・ご要望」のページをご利用ください。

東京都交通局ホームページ > お問い合わせ > ご意見・ご要望

(<https://www.kotsu.metro.tokyo.jp/eng/opinion/>)



都営交通お客様センター

都営交通に関するお問い合わせ全般を承っております。

午前9時～午後8時〔年中無休〕

電話番号 03-3816-5700

FAX 03-3812-7640

※自動音声ガイダンスに従って、下記の3つのうちからご希望のお問い合わせ内容にあわせて番号をお選びください。

1番：運賃・時刻・ルートなどのお問い合わせ

2番：お忘れ物などのお問い合わせ

3番：その他、ご意見・ご要望など

お客様からの声についても、情報公開しております。

(<https://www.kotsu.metro.tokyo.jp/eng/customer.html>)



東京都交通局2019経営レポート

令和2年1月発行

編集・発行

東京都交通局

総務部 財務課

所在地 163-8001 東京都新宿区西新宿二丁目8番1号

電話番号 03-5321-1111（代表）

会社名 株式会社内浦

所在地 東京都江東区潮見二丁目2番3号

電話番号 03-5646-9171

すべての「今日」のために。

